

中国語で誤解しないように (第51回)

「職工」

今回の題材は「職工」です。日本語で「職工」というと、工場で働いている技術労働者を意味します。日本の企業では会社で雇用者として働く人員をまとめて「社員」或いは「従業員」と称しており、事務所で働く人を「事務職」或いは「職員」、工場で働く人を「工場労働者」或いは「工員」、そして「職工」と称しています。現在では「工員」の方が一般的で、余り「職工」とは言わなくなっています。

例えば「この工場の職工（工員）は全員で500名です」は中国語で「這個工廠的工人一共有500个人」、「この職工（工員）はたいへん勤勉です」は「這個工人工作得很努力」となります。

一方中国語で「職工」というと、官庁、会社或いは学校で勤務している従業員の総称であり、「職」は「職員」の略で、「工」は「工人」の略です。「職員」は日本語の「事務職」或いは「職員」を意味しており、「工人」は「労働者」を意味しますので、職員＋労働者＝従業員となる次第です。従って同じ表現での例をとると「この会社の従業員は全員で500名です」が「這個公司的職工一共有500个人」となり、「この会社の従業員はたいへん勤勉です」が「這個公司的職工工作得很努力」となります。

日本語と中国語の使い方の大きな違いは、中国語では「従業員＝職員＋労働者」となっていますが、日本語は「従業員＝労働者」である点です。日本では第二次世界大戦終了後に労働組合が設立され「資本家 v s 労働者」との構図が出来ました。本来従業員は全て労働者とのことで、企業で言えば管理職も労働者として組合員になれる資格があったのですが、その当時は管理職は会社側（即ち資本家側）とのことで組合員にはなれませんでした。最近では非常に緩和されて部長以外の管理職も組合員になれるようになった企業が多い様です。

一方中国では「従業員＝職員＋労働者」と明確に分けていながら、「工会」と称する労働組合へは「給与取得者であれば全員組合員になれる」と規定されており、さすがに社長（総経理）は組合員にはなりません、副社長（副総経理）以下の職員及び労働者が全員組合員になっていました。共産主義国家であった中国には資本家が存在しなかったのですからこれは当然と言えます。然し現在では中国でも外資との合併企業のみならず、中国企業にも資本家が出現して取締役会（董事会）が設立されていますので、これからは大きな変化が出てくると思います。

・
・
・

中国語で誤解しないように (第52回)

「預備」と「予備」

今回は中国語の「預備」と日本語の「予備」を取り上げます。この両方とも日本語での発音は同じ「よび」であり、共に「予め備える」との意味があるので、同じ言葉と混同しそうですが、それは「預」の略字が「予」ではないかと思われる為かも知れません。日本語の「予」は「預」の略字ではなく「豫」の略字です。日本語で「伊豫の国」を「伊予の国」と言いますが、「預金」や「預ける」との言葉を「予金」或いは「予ける」とは書きません。従って「予備」は「豫備」の略字となります。然し漢和辞典を調べると「預」の字の末尾に「前以って準備する、豫と同じ」との説明がありますので、「豫」も「預」も過去に同一的使われ方をしたことがあるのでしょうか。因みに「未来の事を予測して言う」との言葉の「预言」は「預言」と「豫言」の両方が漢和辞典に掲載されていました。

中国語の「預」には、「予め」や「事前に」との意味はありますが、「預ける」との意味はありません。「預備」は「予め備える」「前以って備える」との意味ですから、日本語の「準備する」「用意する」との意味になります。用例としては「**你們**預備好了**嗎**? (みんな用意が出来ましたか?)」、「冬天快来了、要預備棉衣 (もう直ぐ冬になるので、綿入れの用意しなければ)」、「下星期就考試了、我正在預備功課 (来週は試験なので、私は目下試験の準備をしている)」等があります。面白いのは徒競走のスタートの合図で「位置について、用意、ドン」がありますが、これを中国語で「各就**各位**、預備、跑!」と言います。

なお「準備する」の意味として、もちろん「准备」も使えます。

「預」の字のみの「予め」の用例として「勿謂言之不預 (予め注意してくれなかったのはけしからんと言わないで下さい)」、「預付款 (前払金)」等があります。また「予め」以外の意味として「参加する」「関与する」があり、用例として日本語の「参与」に当たる「参預 (参加してたずさわる)」や「不必干預 (関与するには及ばない)」等です。

日本語の「予備」は「前もって準備している」と意味は同じですが、形容詞として使い、中国語のように「準備する」との動詞としての使用はありません。用例として「予備のお金を貯金する (把備用的錢儲蓄起来)」、「予備を使って修理する (使用備件修理)」、「予備知識 (備用知識)」等です。

なおご参考までですが、中国語の「予」は独立した字で、昔日本の大名が自分のことを「予 (或いは余)」と言った「我」「自分」の意味と併せ、「与える」や「してやる」との意味があります。「予以适当照顾 (適当に世話をしてやる)」、「予以批判 (批判を加える)」、「現在所表示的诚意是、必須予以充分認識的 (現在示されている诚意は、十分に認識されねばならない)」等です。

・

・

中国語で誤解しないように (第53回)

「東西」

日本語の「東西」には「東と西」の意味だけと思ったら、結構いろいろな意味があります。「東と西」「東部と西部」と併せ、「東洋と西洋」、「東西！東西！」と叫んで観客のどよめきを静める言葉、自由諸国と社会主義諸国との間に存在する国際問題の総称としての「東西問題」、そして江戸時代に四辻に立って口上を述べた「東西屋」等々です。なお関西では「ちんどん屋」のことを「東西屋」と言うそうです。

中国語では「東西」を「Dōng-Xī」と発音しますが、「西」を「東」と同じ強さで発音すると「東と西」の意味であり、「西」を轻声で発音すると「物品、物事や人物、知識」を指す場合に使われる代名詞的用語になります。

「東と西」の用例としては「這個公園東西1公里、南北2公里（この公園は東西が1キロ米、南北が2キロ米あります）」があり、また「東～西～」の形式で「あちこち」とか「あれこれ」等のいろいろなことを表現します。用例として「東張西望（あちこちをキョロキョロ眺める）」は「鄉下人剛進城總是東張西望（田舎者が町に来たばかりの時は、と？かくあちこちをキョロキョロ眺めたがる）」として使い、「東拉西扯（出まかせに喋る）」は、「他不等聽完、就東拉西扯滔滔不絕（彼は話を聞き終わらず、口から出まかせに滔々と喋り続けた）」との使い方をします。

四字形式として「東眺西望」や「東撒西看」は「東張西望」と同じ意味で、その他「東拿西湊（あちこちから〔金や物を〕無理算段して集める）」、「東翻西找（あちこちをひっくり返して捜す）」、「東成西就（何もかもいろいろ成功する）」、「東奔西跑（東奔西走する）」、「東扶西倒（こちらを支えるとあちらが倒れる、守ることが難しい）」、「東鱗西爪（こまごまとして纏まりがない）」、「東来西往（あちこち行き交う）」、「東塗西抹（むやみに書き散らす、文章を苦勞して作る）」、「東搗西蓋（ひた隠しに隠す）」等々で、その他まだたくさんの用例があります。

また四字形式を採らない「東一句西一句（話の順序がめちゃくちゃ）」、「東不成西不成（何もかもうまく行かない）」、「東不靠西不靠（寄る辺がない、頼るところがない）」、「東不着西不着（どっち着かず）」、「東一頭西一頭（あちこち逃げて始末に終えない）」、「東一耙子西一掃帚（きまぐれに、無計画に事を運ぶ）」もあります。

一方「物品、物事や人物、知識」の場合で、先ず物品や物事の用例としては、「他收拾好東西就走了（彼は片付けを済ませてから直ぐ行ってしまった）」、「他買東西去了（彼は買い物に行った）」、「一成不變的東西是没有的（一定不變の物事は存在しない）」があります。特に食品や煙草の際に「病人吃了東西沒有？（病人は何かものを食べたか？）」とか「我抽不慣這個東西（おれはこれを吸い慣れていない）」と使います。

また人物に使う場合は、憎しみや可愛さを含めて「……の奴」という表現の際に使い、「這個老東西（この老いぼれめ）」とか「他算是什麼東西（あいつは何という奴だ）」、「這小東西真可愛！（こいつは本当に可愛い!）」の表現をしますし、知識や道理を示す場合には、「我从他的著作中、学_レ了很多東西（私は彼の著作からたいへん多くの事を学んだ）」、「語言這個東西、非苦功学不好（語学というものは一生懸命勉強しなければ学ぶことは出来ない）」と使います。

以上は東西ですが、南北を使ったこの様な特別な表現はないようです。唯一面白い表現として「東西南北人（住居が一定しない人）」があります。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第54回）

「大家」

日本語で「大家」というと、芸術や技術の拔きんでた人や権威者を意味する「たいか」と賃貸住宅や建物の貸主である「おおや」の二つの違った発音による用途があります。中国語でも芸術や技術の拔きんでた人や権威者を「大家」と表現します。「書法大家（書の大家）」、「大家手筆（大家の著作）」等です。また同じ範疇の用途として日本語の「名門名家」の意味があり、「大家閨秀（名門の令嬢）」や「到底是大家出身、言談举止就是不同（何といっても名門の出身だけあって、言うことなすことが他の人と違う）」との表現です。なお日本語の賃貸住宅や建物の貸主である「おおや」のことを中国語では「房東」或いは「房主」といいます。この「房東」に対する「借家人」、即ち「店子」のことを「房客」といいますが、一般的には「租房人」です。

扨て日本語と全く違った中国語の意味は「みんな」或いは「皆」です。用例としては「一定範囲内の全ての人」を指す場合と「ある人又はある人達を除いた他の一定範囲内の全ての人」を指す場合の使い方があります。前者の用例は「大家的事、大家一起辦（皆のことは皆で一緒にやる）」、「大家的情绪很高（皆の意気込みはたいへん高い）」、「大家都是熟人、彼此不必拘束（みんな知合いだから、そんなに四角ばらなくても良い）」、「這個費用大家_分攤（この費用は皆で共同負担する）」です。後者の用例としては、「你去告訴大家、气象預報說、今晚有大雨（君が行って皆に今晚は大雨と天気予報で言っていると伝えてくれ）」、「我決不辜負大家的期望（私は決してみなさんの期待に背きません）」、「他們一進來、大家都鼓掌表示歡迎（彼等が入ってきたら、みんな拍手で迎えて歓迎した）」があります。

その他「大家」には、よく複数の代名詞の後に用いて、それと同格の表現をする場合があります。「你們大家（君達皆さん）」や「我們大家（我々みんな）」との使い方です。「大娘！、老李不在_您身邊、還有我們大家呢（おばさん！、李さんが貴女のそ

ばに居なくても、私たちが居ますよ)」と表現します。

「大家」が「書の大家」とか「名家名門」として使われるのは理解出来ますし、また中国は大家族制度ですから、「大きな家にたくさんの人がいる」と解釈すれば「みんな」を指すことまでは理解出来ます。然し何故「家主（房東）」のことを日本語で別の発音で「おおや」と言うのかが分かりません。多分昔「店子」が「おおやさん」と敬称で呼んでいる所から推察すると、昔は金持ちが自分の広い土地の中に小さい家をたくさん建てて従業員や小作人を住まわせていましたが、そこから大きな家に住んでいる金持ちの家主のことを「おおや」と言うようになり、それが転じて賃貸住宅や建物の貸主を「おおや」というようになったのかも知れません。こう解釈すると「おおや」も大きな家に住む金持ちとのことから「名門名家」の「大家」の範疇と在ると言えます。言葉というものは誠に面白いものです。

・
・
・

中国語で誤解しないように (第55回)

「新聞」

日本語での「新聞」は、毎朝毎晩自宅に配達される「新聞」や駅の売店で販売している「新聞」のことで、それ以外に新聞の意味はありません。この新聞から発生した「新聞辞令」「新聞記事」「新聞種」「新聞記者」「壁新聞」「新聞紙（しんぶんし及びしんぶんがみ）」等の言葉があります。

日本語の「新聞」のことを中国語で「報」又は「報紙」といい、前出それぞれの中国語は、「新聞辞令」が当事者の窺い知れない人事に関する噂話・情報とのことで、「報上未透露的（未正式公布的）人事任免信息」となります。その他は「新聞記事を書く（写条新聞消息）」、「新聞種（報道的材料、稿源）」、「新聞記者（新聞記者で日本語と同じ表現）」、「壁新聞（壁報、牆報）」、「新聞紙／しんぶんがみ（旧報紙）」となります。また関連した用例としては、「新聞をとる（訂閱報紙）」、「私は毎日朝晩に新聞を読む（我每天早晚看報）」、「新聞報道によると日本経済はとうとう底をついて、上向きに転じた（据報紙所載、日本經濟終于摆脱谷底、轉向増長）」等の表現があります。

一方中国語の「新聞」の意味は「ニュース」、即ち新しい情報や出来事のことで、マスコミによって伝えられるニュースを意味しています。中国のテレビでニュースを見ていますと、最後に「今日のニュースをお伝えしました」と言って終了しますが、この時に「今天新聞播送完了」と言っています。マスコミは「新聞工作者」、マスメディアは「宣傳工具」或いは長くなりますが「報紙・電視・広播等宣傳媒体」と表現します。

扱って漢和辞典や広辞苑を見ますと、「新聞」とは「新しく聞いた話、新しい見聞、新しい知らせ、ニュース」との記載があり、また「新聞紙の略」となっています。従って「新聞」そのものの意味は中国語と同じく「ニュース」であり、新聞紙の名称が

日本経済新聞や朝日新聞となっていたので、日本ではいつの間にか「新聞紙／しんぶんし」のことを「新聞」と言い習わすようになったものと思われる。

・
・
・

中国語で誤解しないように (第56回)

「行事」

今回は「行事」を取り上げます。日本語で「行事」と言えば「年中行事」「恒例の行事」との表現のように「その社会の慣行として、時を定めて行う儀式や催しもの」のことを指します。「年中行事」を中国語で説明すると「一年中按计划或習慣举办的活动」となり、「運動会は学校の年中行事の一つだ」「運動会是在学校每年例行的活动之一」となります。中国語の「例行」には「型どおりに行う」との意味がありますので、「年中行事」の中国語訳は「一年中例行的活动」或いは「每年例行的事」となるでしょう。

一方中国語の「行事」は、この言葉の通り「事を行う」が語源となって「行い」や「行為」を意味すると共に、「人付き合いや人あしらいの手腕がある」との意味に使われます。「行い」や「行為」の用例としては、「言談行事（言葉と行い）」、「按道理行事（道理に従って処理する）」、「見机行事（チャンスを見て行う）」等の表現があり、また「他行事為人、都叫人佩服（彼の行為と人となりは、他の人の尊敬を受ける）」或いは「看交情行事（付き合いの程度によって実行する）」等の表現もあります。

「人付き合いや人あしらいの手腕がある」との用例は、「这个太太真不会行事、人家老远地来了、也不知留人吃顿饭（この奥さんは全くお客さんの扱いが出来ない、人が遠い処からやって来たのにご飯も出さない）」とか「他真会行事、用几句话先让老张走、然后才告诉老李这件事（彼は立派な人あしらいの手腕を持っている、二言三言で先ず張さんを去らせ、その上で本件を李さんへ伝えた）」です。

「事を行う」という「行事」が何故「人付き合いや人あしらいの手腕がある」との意味として使われるのか、年中行事等の「行事」としての意味しか知らない日本人にとって疑問が残る所です。実は「行(X i n g)」には「行く、よろしい！、かまわない」の意味と併せて、「手腕がある、適任である、すばらしい」の意味を持っています。「这个小组的成员都很行（このグループのメンバーはみな腕利きだ）」、「老李搞起实验来、真行（張さんが実験をやりだすと、誠にすごい）」、「老王、你真行！（王さん、貴方は本当にすばらしい！）」との用例です。必ず「很や真（たいへん、まことに）」の「程度」を意味する副詞の後で使います。但し同じ「程度」を意味する副詞でも「最、極、有点儿」等の後には使いません。この場合の「行」は全て「能力の素晴らしさ」を表しており、これが転じて「人付き合いや人あしらいの手腕がある」を意味するようになったと思われます。

「行事」は語源的には「事を行う」との同じ意味から発生していながら、日本語と中国語では全く使い方が異なる面白い言葉です。中国語では「行い」や「行為」との語源の意

味を残していますが、日本語の用途は運動会、神社の例祭、四季の儀式等の「その社会の慣習として、時を定めて行う活動や儀式」のみの意味となっており、恐らく日本では中国から伝来した「行事」という言葉を、「行う事」或いは「行うべき事」との意味で使う習慣が出来たのでしょうか。

・
・
・

中国語で誤解しないように (第57回)

「専門」

日本語の「専門」は「その事柄を研究・担当するだけで、それ以外の事にはかかわらない」との意味を持っており、そこから「専門学校」「専門科目」「専門家」「専門とする」等の言葉があり、これに関連して自分の専門以外のことを全く分からない人のことを揶揄した「専門馬鹿」との言葉もあります。またこれ以外に特定の分野で仕事或いは研究をする上で使われる造語を「専門用語」といっています。

日本語の「専門学校」は中国語で「专科学校」といい、その他「専門科目」は「專業科目」、「専門家」は「專家」、また「専門用語」は「專業術語」です。用例としては「私の専門科目は遺伝工学です（我的專業科目是遺傳工程）」、「彼の専門は医学です（他的專業是医学）」、「彼は仕事を通して育成した機械組立の専門家だ（他在工作中培養出來的裝配機械的專家）」、「専門用語を知らない通訳は、如何に会話がうまくても実際の仕事には使えない（不知道專業術語的翻譯、雖有非常好的會話能力、但不能用于實際業務）」等があり、また「我々は目下中国經濟を専門的に研究しています（我們正在專門研究中国經濟）」との副詞的な使い方もされています。

一方中国語の「専門」は「あることを専門として、もっぱらそれに従事する」との意味から転じて、日本語の「もっぱら、何かをする」との副詞としての使い方しかありません。用例としては、「今回首相はもっぱら農村地区を訪問した（這次總理專門訪問了農村地区）」、「この製品はもっぱらアメリカ向けに輸出されている（這個成品專門向美国出口）」、「彼はもっぱらこの点ばかり知りたがっている（他專門愛打聽這些事）」等です。

日本語も中国語も「もっぱら何かをする」と副詞として使われていますが、日本語の方は「中国經濟を専門的に研究している」との例のように、専門としてやることにしか使えません。一方中国の方は「農村地区の訪問」や「アメリカ向けの輸出」等々何にでも使えるところに差がある次第です。さて日本語で「皆それぞれが専門を活かす」を、中国語では「大家發揮各自的專業特長」と訳しますが、面白い言い方として「八仙過海、各顯其能」というのがあります。これは「八人の仙人が船で海へ漕ぎ出した時に、それぞれの仙人が自分の得意な能力を發揮して困難を克服し海を渡る」というもので、皆それぞれが自分の専門的能力を發揮する例えとして使われます。

・

中国語で誤解しないように (第58回)

「心中」

日本語で「心中」と書いた場合に「しんちゅう」と発音する場合と「しんじゅう」と発音する場合があります。「しんちゅう」は「心の中」との意味ですが、「しんじゅう」と発音する「心中」にはいろいろな意味があります。通常「しんじゅう」というと「相愛の男女と一緒に自殺する」と理解されていますが、それから転じて「親子心中」というように二人以上の人が共に死ぬことを表すと共に、「会社と心中する」とのように、「打ち込んでいる仕事や組織と運命を共にすること」や「彼に心中建てをする」のように「人に対して義理を立てる、約束を守る」との意味があります。

一方中国語の「心中」には日本語の「しんちゅう」である「心の中」とか「胸のうち」との文字通りの意味しかありません。

「しんちゅう」の中国語の用例としては、「心中」がそのまま使われる「心中密かに思う(心中暗想)」や「胸がドキドキする(心中忐忑)」があります。この「忐」は日本語で「こん」と発音し、「忑」は日本語で「とく」と発音します。「こん・とく」2字で熟語を形成し「ねんごろ」とか「心の定まらない」ことを意味しています。

また「心中有数」との言葉があり、これは「心ではよく分かっていること、心に思惑や打算がある」との意味で「胸心中有数」とも書きます。用例として「唾吧吃扁食、心中有数(おしが餃子を食べている、幾つ食べたか良く心得ている)」や「他雖然不公然反对、心中有数(彼は公然とは反対しないが、胸の中には思惑がある)」との意味です。「口には出さないが心の中では良く分かっている」との場合に使われます。

この反対が「心中无数」又は「胸中无数」で、「問題や事情が良く分かっていない、自信がない」との意味です。

また「心中」の代わりに「心里」その他の表現を使う例があり、「彼は心中に確信を持っている(他心里有確信)」、「彼の心中は察するに余りがある(他的心情是可想而知的)」、「心中穏やかでない(心情不平静)」、「心中を打ち明ける(説心里話)又は(傾吐内心)」があります。

恋愛関係にある男女の「しんじゅう」を中国語では「情死」といいます。「情」とは「感情、心持ち、心情」を意味しますが、中国語の「情」には「男女間の愛情」との意味もあり、皆さんご存知の通り「情人」は「恋人」であり、「情侶(恋愛関係にある男女)」、「談情(愛情を語らう)」等の表現があります。従って「他們兩個人情死了」といえば愛し合った男女二人と一緒に自殺することです。この他日本語で使われている「しんじゅう」の例としては、中国語の表現を意識したのかも知れません。

が、「無理心中(強迫一同自殺)」、「親子心中(父母子女一同自殺)」、「ガスによる一家心中(用瓦斯中毒方法全家自殺)」があります。「心中建てする」との用例では、「彼は、将来に

見込みはないが会社に心中して辞めずに仕事をすると言っている（他説、雖然在将来没有什麼把握、他没退辞在這個公司繼續工作）」とか「彼は李君に心中建てして、共に会社を辞めた（他對小李守信義、一起退辞公司）」の表現があります。

なお中国では「啞吧（おし）」をいろいろな例えに使うようで、「啞吧愛說話（おしは喋りたがる）」は「出来ないくせに手を出したがる」ことを意味しており、「啞吧吃黃連、有苦說不出來（おしがせんぶりを飲んだ、苦くても口に出すことが出来ない）」は「人に告げられない非常な苦しみがある」との際に使われます。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第59回）

「左右」

「左右」という言葉は第53回にお話をした「東西」と似たような言葉です。ただ中国語の「東西」は幅広い意味を持っていましたが、日本語は「東と西」以外に余り意味するものはありませんでした。今回の「左右」は中国語のみならず日本語もいろいろと意味を持っており、中国語と日本語が共通する点が多くあるのが特長です。

日本語の「左右」には、「左と右」との意味と併せて、「そば、身の回りの物や部下」、「支配する、思うままにする」、「自分の意思をはっきり言わず曖昧な態度をとる」等の意味があります。またこれは日本語のみの表現ですが、「よい知らせ」という意味の「吉左右」があり、これは「きっそう」と発音します。

日本語の用例としては、「左と右」は「道路の左右に柳の木が植わっている（道路両旁栽着柳樹）」や「左右相称／シンメトリー（左右対称）」があり、「そば、身の回り」は「自分の左右を片付ける（收拾自己的身边）」や「万一に備えて自分の左右に置いておく（防備万一、放在自己的身边）」があります。「支配する、思うままにする」は「感情に左右される（受感情的影響）」、「運命は人間の意思によって左右出来ない（命運不能以人們的意思為轉移的）」や「運命を左右する大事件（左右命運的大事件）」があり、また「自分の意思をはっきり言わず曖昧な態度をとる」との表現には「言を左右にする（左右其詞）又は（支吾唐塞）」があります。

中国語の「左右」には「吉左右」を除いて上記の日本語の意味が全てあります。例えば「左右逢源（随所に源を得る→手近かなものが学問・修養の源泉となる、事が皆順調に行く）」、「左右為難（板挟みになる、ジレンマになる）」との用例があり、「左右の部下」としては、史記の項羽記の垓下で劉邦に負けた場面で「左右皆泣、莫能仰視（左右皆泣き、能く仰ぎ視るもの莫し）」と記されています。

日本語にはない中国語独自の使い方として、「ぐらい、ほど」の意味の「三十歳左右（30歳ぐらい）」や「三点鐘左右（3時ぐらい）」並びに「どうせ、いずれにしても」の意味の「我左右閑着无事（私はいずれにしてもする事がなく暇だ）」や「左右是這樣（いずれに

してもこんな具合です)」の表現があります。

なお中国語には「左～右～」との用法で「① あちらもこちら、② どっちにしても、③ あれこれ」との表現があり、用例として、①が「左来右来、老没完（あちらからこちらから来て、きりが無い）」、「左求右告（あちらにもこちらにも頼む）」、②が「左也吃虧、右也吃虧（どっちにしても損をする）」、③が「左思右想（あれこれと思いめぐらす）」、「左支右支（あれこれ言い抜ける、あれこれとごまかす）」と使います。

言葉として左と右の「左右」ですが、中国語には日本語と比べより多くの用法がある次第です。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第60回）

「掃除」

今回は非常に簡単な「掃除」という言葉です。通常日本語の「掃除」には「ごみや埃を取り除いてきれいにする」との意味にしか使いません。用例としては「部屋を掃除する（打掃房間）」、「庭を掃除する（打掃院子）」です。また最近はなくなりましたが、昔は子供に対してよく「虫下しでお腹を掃除しましょう（用打虫葯把肚子里打淨一下吧！）」と言っていたことがあります。

中国語にも日本語と同じ「ごみや埃を取り除いてきれいにする」との「掃除」という語彙がありますが、これは「部屋の内外は毎日掃除しなければならない（房間内外需天天掃除）」とか「大掃除（大掃除）又は（大清掃）」です。中国語の「掃除」は他動詞として使えませんが、他動詞としての「掃除」には「打掃」を使います。

中国語の「掃除」を他動詞として使うと、「除く、一掃する」との意味と「肅清する、追放する」との意味があり、日本語の「掃除する」には「打掃」が使われますので、一般的にこの用途の方が広く使われています。「除く、一掃する」としての用例は、「掃除天下（天下を平定する）」、「掃除障碍（障害を一掃する）」、「掃除文盲（文盲をなくする）」等です。

「肅清する、追放する」の用例は、「掃除反革命分子的問題（反革命分子を肅清する問題）」、「掃除反対派議員（反対派議員を追放する）」、「四面賊匪一律掃除（四方の匪賊をいっせいに掃討する）」等です。この場合に「掃除」の代わりに「肅清」を使っても意味は変わりません。

なお日本語の「電気掃除機」を中国語では「電気吸塵器」といいます。今回は日本語の「掃除する」という言葉を、中国語で他動詞として使うと全く異なった用途となってしまうとの説明でした。然し日本語でもあるグループや組織の中で、その中に存在する不良分子に対して「あんな奴等を掃除してきれいにしなければならない！」との使い方もあることを認識する必要があります。

・

・
・

中国語で誤解しないように (第61回)

「自愛」

我々はよく手紙の最後に「切にご自愛のほどお願い申し上げます」と書きます。これは「是非ご自分の身体の健康にご留意下さい」との意味で、「自愛」とは人間が自然の状態において持つ自己保存の気持ちを表しています。

この日本語の「自愛」を中国語では「保重」で表現します。中国語の「保重」には「自愛する」「身体を大切にする」等の意味があります。「切にご自愛のほどお願い申し上げます」を中国語では「**请**多保重」または「**请**你多々保重」と表現します。ちょっと難しい文語的表現をすると「敬**请**保重**为**禱」となります。

一方中国語の「自**爱**」はちょっとニュアンスが異なって、「自重する」との意味を持っています。日本語で「自重」とは、「自分の行動を慎んで、軽々しい振る舞いをしないこと」を意味します。然し広辞苑をみるとこの意味以外に「自分の品位を保つてみだりに卑下しないこと」との意味と併せて「自分の身体を大切にして健康を損なわないこと」とも記載されています。然し我々は日常的に「自分の身体を大切にして健康に留意する場合」には「自愛」を、そして「何か事があって自分の行動を慎まなければならない場合」には「自重」を使います。

従って何か事があって、その人に自重して貰いたいと思う時に、「事はますます重大になって来ました。是非自重して下さい」と表現しますが、「是非ご自愛下さい」とは表現しません。これを中国語では「事情越来越**严重**、**请**多自**爱**」と表わします。

漢字が持つ日本語の意味は、元来が中国からもたらされたものであり、中国語の古文である「漢文」の持つ意味を理解していた過去の事例から、日常的に我々が使っていない意味でも辞書に記載されている例が多々あります。今回の例はその一つかも知れません。従って日本語の「自分の健康に留意して下さい」との意味の「自愛」は、中国語で「保重」であり、「ある事について自分の行動を慎んで欲しい」との意味の「自重」は、中国で「自**爱**」であると、素直に理解して使用することでよいのではと思います。

・
・
・

中国語で誤解しないように (第62回)

「緊張」

日本語の「緊張」とは、「ぎゅっと引き締まっている状態」や「ぴんと張って少しも緩みのない状態」と併せ「相互の関係が悪化して今にも争いが起きそうな状態」を

表す言葉です。「晴れの舞台で緊張する」、「精神的な緊張をほぐす」、「緊張はしているが愉快的毎日を過ごしている」、「人前に出ると緊張する」、「両国の緊張関係は今も続いている」、「靖国神社問題で目下日中関係は緊張した局面にある」等の用例があります。

これを中国語に翻訳すると、「在隆重的場面、心里很紧张」、「放松精神紧张」、「每天过着紧张而愉快的生活」、「在众人面前、很紧张」、「两国间的紧张关系、现在还在持续」、「因靖国神社问题、中日关系处于紧张的局面」となりますが、この意味での「緊張」の用途は日本語も中国語も全く同じに使われています。これを英語では「strain」とか「tension」と表現します。

何故ここで英語を出したかという、中国語の「紧张」には日本語にはない「差し迫っている」、「逼迫している」との意味があり、通常我々は英語をそのまま使って「タイト」即ち「tight」を使っているケースが多いからです。

用例としては、「仕事が多忙で休みを取る暇がない」、「人民元が強くなり、為替市場で逼迫している」、「野菜の供給が不足している」等があります。これ等の表現を我々が普段日常的にもう日本語の一部として使っている「タイト」を使って、「仕事がタイトで休みを取る暇がない」、「人民元が強くなり、為替市場でタイトとなっている」、「野菜の供給がタイトだ」といっています。中国語では「緊張」がそのまま使うことが出来、中国語では、「工作很紧张、没闲工夫休息」、「人民币越来越上涨、在汇兑市场里很紧张」、「蔬菜供应很紧张」となります。

今回の例は日本語と全く同じ用途を持つと共に、意味としては同じような雰囲気を持ってはいるが日本語では使われていない場面で使用されているケースです。しかも面白い点は、日本語では表現しにくい所を英語の「タイト」を使うと直ぐに理解出来ることで、例えば「仕事がきつくて忙しい」との状況を、「仕事がタイト」と言えば一発で理解出来てしまいます。この辺が英語の「タイト」が現在日本語の一部となって普遍的に使われている所以かも知れません。

.

.

.

中国語で誤解しないように (第63回)

「培養」

「培養する」というと、我々は直ぐに実験室で細菌等の微生物や、動植物の組織を培養することを思い出します。「細胞培養」或いは「組織培養」といわれる点です。広辞苑を参照すると「微生物、動植物組織などを栄養、湿度などの外部条件を制御しながら人工的に発育、増殖させること」とあり、また「草木をつちかい養うこと」となっています。要はいろいろと手をかけて育成させることが「培養」であると理解出来ます。然し会社の人材や研究員も手をかけて養成しているのですが、「会社の人材

や研究員を培養する」とはいわない所に日本語の「培養」の特徴があるようです。

一方中国語の方にも当然日本語と同じ意味の細菌や微生物、そして動植物の組織を実験室で培養する場合に「培養」といいますし、また草木に土をかけて養うときにも「培養」といいます。「細菌を培養する」を「培養細菌」と表現し、草木を育て養うことを「培養草木」と表現します。

しかし中国語の「培養」の特徴は、人材や品性、そして力量などを養成する場合にも「培養」を使うことです。人材の養成としては「人材を養成する」、「会社の幹部を養成する」があり、品性の養成としては「道德心を養成する」、「向上心を養成する」があり、力量などの養成としては「新しい力を養成する」、「実力を養成する」等の用例があります。これを中国語に訳すると、「培养人才」、「培养公司干部」、「培养道德感」、「培养上进心」、「培养新生力量」、「培养实力」です。

なお中国語には「培養」という言葉と共にその類似語として「培育」、「培训」、「培植」という言葉があります。「培育」は育てて養成する、「培训」は訓練をして養成する、「培植」はあるものを植えて育てるとの意味で、その養成する過程によって使い分けられています。例えば、果物の樹を育てる場合は「培育果树」、労働者を訓練して育てる場合は「培训工人」、民主主義の思想を植えて育てる場合は「培植民主主义思想」となります。

今回は「培养」という言葉が、日本語では人や人に関することには使えませんが、中国語では人や人に関することを含めた、たいへん広範囲な「育て養成する」との面で使われていることを説明しました。

・
・
・

中国語で誤解しないように (第64回)

「縁起」

今回は中国語の一般的な会話では余り出てこない「縁起」についてお話をします。日本語で「縁起」といえば、一番よく使われるのは「縁起がよい」「縁起が悪い」との言葉です。これは「吉凶の兆しが、よい或いは悪い」とのことで、前兆のよい、悪いを意味しています。

「縁起」というのは仏教用語の「因縁生起」から取られています。「因縁生起」とは、一切の物事は固定的な実体を持たず、さまざまな原因(因)や条件(縁)が寄り集まって成立しているとの仏教の根本思想であり、「因縁」とか「因果」というものです。分かりやすく表現すると「物事には因縁や因果がある」ということでしょう。

日本語ではこの「兆しがよい・悪い」との「前兆」との意味と併せ、神社仏閣の歴史または御利益(ごりやく)に関する伝説を書いたもの、そして起源、由来、霊験等を「縁起」といっています。

日本語としては「縁起がよいからこの仕事は必ず成功する」との形で使うのが一般的で、後は「浅草寺の縁起」という使い方をします。中国語で前者は「因為有吉祥之兆、**这个**工作一定能成功」となり、後者は「浅草寺的起源」または「浅草寺的由来」となります。従って縁起がよい・悪いの場合の「縁起」は、中国語では「前兆」または「預兆」であり、神社仏閣の「縁起」は「由来」「起源」となります。

中国語の「**縁起**」は、物事の由来、起因、理由等の意味ですが、仏語から来ている為か現在は余り使われておらず、愛知大学の漢和大辞典に「農民協会の発起人が発表した理由によると集団の力で生活を改善し、且つ土地問題を解決したい為だとのことである」との用例が出ていました。中国語では「**据说、农民协会的发起人发出的縁起说明、将来由集体力量改善生活、并谋求解决土地問題**」と表現されます。

なお中国語の「**縁起**」のもう一つの意味として「書物のはしがきまたは序」とありますが、現在出版されている中国語の書物を見たところ「序」或いは「致**读者**」とされており、「**縁起**」と書いてある本を見たことはありません。

我々日本人はよく「縁起が良い」とか「縁起が悪い」と験（げん）をかつぎますので、今回は「縁起」という言葉に着目して、日本語と中国語の差について書いてみました。

・
・
・

中国語で誤解しないように (第65回)

「生气」

今回は「生气はつらつ（澆刺）とした」の「生气」という言葉です。「生」は生命や生み出すとの意味を持ち、「氣」は勇氣・元氣等の精神状態を意味し、「生」と「氣」が一緒になって「生き生きとした様子」を示しています。

日本語で「彼は生气はつらつとして仕事に励んでいる」、「生气に満ちあふれている若者」、「生气を取り戻す」、「彼は生气はつらつとした先進分子である」等の用例があります。これを中国語で「他生气勃勃地工作」、「充满朝气的年青人」、「**恢复活力**」、「他是朝气蓬勃的**先进**分子」と表現し、日本語の「生气」は使い方によって「生气」、「朝气」、「活力」等で表現します。

中国語として「生气」のもう一つの使い方は、皆様がよくご存知の「怒る」或いは「腹を立てる」です。「怒るなよ!」、「お前はだれに腹を立てているのか?」、「貴方は私のことを怒っているのか?」等です。中国語で「別生气!」、「你**在生谁**的气呀?」、「你是生我的气**吗**?」と表現します。なお中国語では「气を生じる」ことが「怒る」ことであり、この「气」だけを使った表現としては「气得要死（死ぬほど怒る）」や「气得**脸发紅**（真っ赤になって怒る）」があります。

なお「怒られた」や「叱られた」との表現として、中国語に「挨**说**」との言葉があ

ります。「いたづらをしたのでお兄さんに怒られた」は「因為淘气、挨哥々说了」であり、「僕は叱られたことがないよ！」は「我没挨过说」と表現します。

人生自分の意にならぬことが多く、よく「你別生气！」はよく言われます。生气はつらつとしたよい表現の「生气」に、中国語では生气はつらつし過ぎた結果としての「怒る」との表現があることが誠に面白いと思って取り上げました。

なお「生气（せいき）」と同じ発音で、日本語に「精気（せいき）」があります。「精気」とは生命の源泉たる元氣、精力のことで、天地万物の根本の氣ともいっており、中国でよくいわれる「気」とは、この「精気」のことのようです。「精気」は中国語でも「精气」であり、「精気溢れる若人（精气充沛的年轻人）」と表現しています。日本語の若い人を「若者」或いは「若人」といいますが、中国語も「年青人」と「年轻人」との表現があり、面白いので両方を使ってみました。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第66回）

「假装」

「假装」の日本語は、現在では略字を使って「仮装」と表現しています。然しこの「仮」の字は日本語独特の略字で、中国語には「仮」と書く簡体字はありません。日本語の「假装」とは「仮の扮装」とか「相手を欺く為に偽りを装う」との意味があります。前者の例は「假装行列」とか「假装舞踏会」であり、後者の例は「假装行為」とか「假装巡洋艦」として使われます。前者の「假装」は中国語で『化装』又は『假扮』となり、後者の「假装」は『偽装』です。「假装行列」は中国語で『化装游行』となり、「假装舞踏会」は『化妆舞会』と表現され、後者の「假装行為」は日本語でも使われている『伪装行为』、「假装巡洋艦」は『伪装巡洋舰』となります。

一方中国語の「假装」は「そのふりをする」とか「それらしく装う」との意味であり、日本語の後者の意味合いのみです。「知らないふりをする」「落ち着いたふりをする」「寝たふりをする」等の場合に全て「假装」を使います。中国語では『假装不知道的样子』『假装镇静』『假装睡觉（又は装睡）』となります。また日本語の諺の「人のふり見て我がふり直せ」は『借鉴他人、纠正自己』です。この「ふりをする」は「假装」と併せ「装做」も使われます。例えば「新聞を見るふりをする」を『装做看报的样子』と表現します。

扨て「假装」の際の「假」は、中国語の三声で「j i a」と発音します。「假」にはもう一つ四声で「j i a」と発音する意味があります。これは日本語の「暇」と同じ「休み」「休日」の意味になります。用例としては「病假（病氣休暇）」、「事假（事故休暇）」、「丁假（忌引休暇）」、「婚假（結婚休暇）」、「产假（出産前後の休暇）」、「暑假（暑中休暇）」、「假日（休日）」等です。

中国語にも「暇」という字がありますが、これは「x i a」と発音して、「ひま」とか「余裕」という意味です。「ひまな日 (闲暇)」、「ひまをとる (抽空)」、そして「そのような余裕がない (无暇及此)」等です。

今回「假装」について述べたのは、中国語で「休暇」を意味する場合は、「暇」の字ではなく、必ず「假」の字を使うことと、「仮」は日本語の略字であって、中国語では使えないことを承知して頂きたかったからです。即ち日本語で「仮」という場合は三声の「假」となり、「暇」という場合は四声の「假」になるということです。

・
・
・

中国語で誤解しないように (第67回)

「工程」

日本語の「工程」とは、物を作ったりする際の作業を進めてゆく順序のことを表現します。例えば「今回の生産工程は非常に複雑である」とか「今回の工事は各工程ごとにそれぞれ責任者を配置する必要がある」等の表現をして、作業とか工事の流れを表しています。一方中国語の「工程」には、作業の順序とか工事の流れを表す意味は全くありません。日本語で言えば工事或いは生産工程全体を意味しています。

日本語でも中国でも「工程管理」という言葉があります。日本語の意味は作業の流れ或いは生産の工程（プロセス）を管理する意味ですが、中国語の意味はその作業全体或いは生産工程の全体（プロセスそのもの）を管理する意味となります。従って、日本語の「工程図」とは、作業工程の途中の状態を順序だてて示す作業の流れを示した図面であり、また工程表も同じです。

日本語の「今回の生産工程は非常に複雑である」は中国語で『这次的~~生产~~程序很复杂』となりますし、「今回の工事は各工程ごとにそれぞれ責任者を配置する必要がある」は『这次的施工、必須在每个~~工序~~配备负责人』となります。

中国語で「工程」を使った日本語の用例としては、「工事は非常に順調に進んでいる (工程进展很顺利)」とか「作業は順序正しく行わなければならない (工程必須按照程序进行)」等があります。

その他「工程」を使った言葉として、「工程力学 (応用力学)」、「工程处 (工事事務所)」、「工程学 (工学)」があり、また特別な使い方として「工程師 (エンジニア=技術者)」があります。日本語の「技術」は中国語でも『技术』であり、「技術者」のことを『技术人员』といますが、技術の資格を持ったエンジニア (大学の工学部を出た技術の専門家) を『工程師』と称しています。

なお中国には「总工程师」という役職があります。株式会社の場合は株主が、そして合弁会社等は出資者が取締役会 (董事会) のメンバーを決定します。この取締役会の決定事項に従って。社長以下の経営幹部が会社を経営しますが、中国には社長 (総経

理)、副社長(副総経理)の他に「总会計師」と「总工程师」の役職があり、この4つの役職者は経営幹部として取締役会で選ぶことになっています。この『总工程师』とは生産及び技術の最高責任者のことです。

・
・
・

中国語で誤解しないように(第68回)

「熱中」

生徒の教育と育成に非常に熱心な先生を「熱中先生」と称したテレビの番組がありました。このように「熱中」とは日本語で「ある活動に興味を持って熱心に行う」ことを言います。用例としては「彼はその仕事に熱中している」とか「彼は勉強に熱中している」があります。熱中するものには当然遊びも入っており、「彼は毎日野球に熱中している」との表現があり、また或いは「彼はあのダンサーに熱中して仕事もろくにしない」との表現もあります。簡単にいえば夢中になって何かに没頭することを日本語で「熱中」というている訳です。

「ある活動に興味を持って熱心に行う」との表現を中国語で『专心』、『埋头』、『热衷』等で表現します。また遊びに熱中する方は『着迷』や『入迷』で表現し、それが異性に対する熱中の場合は『迷恋』や『**热恋**』との表現をします。

「彼はその仕事に熱中している」は『他埋头于那个工作』、「彼は勉強に熱中している」は『他专心用功』、「彼は中国**历史**の研究に熱中している」は『他专心研究中国**历史**』と表現されます。「彼は毎日野球に熱中して、家に帰っても宿題をしようとはしない」は『他每天热衷于打棒球、回家后在家里课外作业也不做』となりますが、「彼はブリッジに熱中している」は『他**热衷**于打桥牌』になるでしょう。

異性に対する「彼はあのダンサーに熱中して仕事もろくにしない」は『他**热恋**那个舞女、工作也不好**好**做』です。

一方中国語で「熱中」というと、名誉や利益などのために熱を上げることを意味します。「彼は権力と名誉と強く求めている」は『他热中于权力和名誉』であり、「彼は名利に憂き身をやつしている」は『他热中于猎取名利』と表現します。この用例は『他专心致意地追**求**权利和名誉』や『他迷恋于获得名利』とも表現出来ます。従って中国語では「熱中」との言葉はそう使われていません。

なお中国語で『热中子』というと「熱中性子」のことです。また以前日本語で「日射病」というていたものを、現在は「熱中症」というているのは時代の変化かも知れません。「熱中先生」のように「熱中」という言葉は、日本では非常に幅広く当り前に使われています。そして「熱中」という言葉は、中国語でいろいろな表現がされるので取り上げてみました。

・

・
・

中国語で誤解しないように (第69回)

「無理」

「無理」は現在の日本語では「無理」と書きます。「无」は「無」の古語で、お寺の中には「南無阿弥陀仏」を「南无阿弥陀佛」と書いた掛け軸がかかっている所もあります。中国語の「無理」はその字の「理が無い」とのことから、「理を欠く」とか「道理をわきまえない」との意味を表します。従って「野蛮で道理をわきまえない」は『蛮横无理』と表現します。また「無理な」「不法な」との意味があり、用例としては「無理な要求を出す」や「それは余りにも無理というものだ」があります。この場合の「無理」は道理に合わない無理です。中国語では『提出无理要求』や『那也太无理了』と表現します。また「彼等はことさらに不法にもこの問題に干渉しようとしている」は『他们却偏要无理干涉这个问题』となります。

初め日本語の「無理」には、「理の無い」とのことから普遍していろいろな表現がされています。先ず中国語と同じ「道理をわきまえない無理」があります。これは既に用例が出ていますが、日本語の諺で有名なのは「無理が通れば道理が引っ込む」があり、これは『无理行得通、道理就不存在』と表現します。

次に日本語で一番よく使われるのは「普通では無理なことを承知しながら、それを敢えてさせる無理」です。強いて行わせる「無理」で中国語では『勉強』や『过度』『不合适』『不合理』『逼迫』『強迫』『硬干』等のいろいろな表現があります。

これ等の用例としては「食べきれなければ、無理をして食べるな（吃不了的話、不要勉強）」、「そんなに無理をすることはない（用不着、那么勉強做）」、「無理な勉強をして、身体を壊さないように気をつけなさい（要当心、別用功过度、免得把身体弄坏）」、「無理難題をふっかける（提出不合理的的要求）」、「君にこんなことを頼むのは無理かも知れないが～（我拜托你这件事情、也許不太合适、但～）」、「彼に無理強いしてはならない（不要逼迫他）」、「書けない時は、無理をして書く必要はない（写不出来的时候、不要硬写）」等々があります。日本語に「無理心中」との言葉がありますが、これに匹敵する熟語はありません。『（情死時）強迫对方一起死』と説明する以外になりでしょう。また日本語で「彼がそう言うのも無理からぬ点がある」とよく表現しますが、これは『他那种说法、也有合乎道理的地方』となります。

なお中国語には「無理」に対して「有理」がありますが、日本語には数学の「有理数」以外はありません。中国語の「有理」は「道理がある」とか「道理にかなっている」との意味で、用例を一つだけ挙げましょう。中国語に「有理无情」という言葉があり、これは「情理かまわず」とか「委細かまわず」との意味です。「彼は、誰がよいか悪いか、委細かまわず全ての生徒に宿題を科した」は『他不管誰对誰不对、有理无情地让全部的学生在家里做課外作业』となります。

・
・
・

中国語で誤解しないように (第70回)

「歩、走、跑」ーその1

中国語を習い始めた時に、中国語では「歩く事を走るという」と教わり、では走るのとは聞いたら「跑」でした。然し中国語の辞書を見ると「歩」も「歩く」となっています。また漢和辞典では「歩」は歩く、「走」は走る、そして「跑」は駆けるとの意味になっていました。「歩」と「走」のそれぞれの用例を見てみると、現在の中国語の使い方では、「歩」は一步の歩幅とか一步一步というような、歩く単位、調子や段階(ステップ)を示しており、一方「走」は歩いている動作の流れを示しているようです。理解して頂き易いように、中国語の「歩」「走」「跑」の3つについて、その違いを用例を挙げて述べてみましょう。

「歩」は日本語では「歩く」との意味です。中国語の「歩」の用例としては、「大股で歩く(迈大步走)」、「少しも動きが取れない(过步难移)」、「一步進むごとに振り返る(一步一回头)」、「[将棋で] 一手打った(走了一步棋)」、「最後の一步まで気を抜いてはいけない(直到最后一步、都不能放松)」、「こんなはめになるとは思わなかった(想不到、会落到这一步)」等です。この他『步步高升(とんとん拍子で出世する)』、『步步为营(一步前進するごとに基地を作る、用心深く行動する)』、『步人後尘(人の後塵を拝する)』、『步入正规(正常な状態に入る)』等の慣用句や四字成語があります。

「走」は日本語では「走る」との意味ですが、中国語では「歩く」の意味になります。その用例としては、「子供はまだ歩けない(孩子还不会走步)」、「日本の代表団はたった今出発した(日本的代表団刚走了)」、「まっ直ぐに前に向かって進む(一直往前走)」等があります。その他の用例として「とうとう腕時計が止まってしまった、電池を換えなければならない(终于手表不走了、要换电池)」、「飛行機が離陸した(飞机飞走了)」、「[将棋で] この手は失着であった(这步棋走坏了)」等があります。

なお号令で「前へ進め(开步走)」やどなり声で「出て行け!」とか「どけ!」という時に『走开!』と使います。また四字成語として『飞砂走石(大風が吹いて荒れている様子)』や「飞针走线(裁縫の手が早い様子)」がありますが、昔の時代の四字成語では「走る」との意味がそのまま使われています。例えば『走马观花(馬を走らせて花を見る、即ち大ざっぱに物事の表面だけを見ること)』や『奔走相告(走り回ってお互いに知らせ合う)』です。

今回の説明は長くなりましたので、「跑」は次回に譲ることとします。

・
・
・

中国語で誤解しないように (第71回)

「歩・走・跑」ーその2

前回は「歩」と「走」について説明させて頂きました。今回は残りの「跑」について説明しましょう。

「跑」は現在の日本語にはありませんが、漢和辞典では「駆ける」との意味が出ています。昔の言葉で「走」が「走る」、「跑」は「駆ける」のの意味の差があるとすれば、「走」は普通の通り走るであり、「跑」は息を切らせるくらい速く走る、即ち「韋駄天の如く走る」との意味であったように思われます。

扨て現在の中国語では、「跑」は「走る」「逃げる」「走り回る」そして「油やガスが漏れる」とか「空気が抜ける」という場合に使われています。

「走る」の用例は、「走ってゆけばきっと間に合う（跑着去、一定能赶上）」、「家からここまでずっと走ってきた（从家里一直跑到这儿了）」、「逃げる」の用例は、「犯人は東京から大阪まで逃げた（罪犯从东京跑到大阪）」、「鳥籠から鳥が一羽逃げた（笼子里又跑了一只鸟）」、「兎を逃がさない様に！（别让兔子跑了!）」等があります。

「走り回る」の用例は、「こんなに多くの地方を、私一人では廻り切れない（这么多的地方、我一个人跑不过来）」や「彼は以前商売のため奔走していた（他过去跑买卖）」があります。

なお「跑」には珍しい用例としての「油やガスが漏れる」とか「空気が抜ける」等の際に使われており、用例として「このタンクではかって油が漏れたことはない（这个油箱、从来没跑过油）」とか「瓶に栓をしていなかったので、アルコールが蒸発してしまった（瓶子没盖儿、酒精都跑了）」、「タイヤの空気が抜けてしまった（車胎跑了气了）」、「一字抜けてしまった（跑了一个字）」と表現し、また「漏電」のことを『跑电』又は『走电』と表現します。

運動の「徒競走」にも「跑」が使われています。「長距離競争」は『长跑比賽』、「百米競走」は『一百米賽跑』、た「四百米リレー」は『四百米接力賽跑』です。用例として「四百米リレーで彼はアンカーを務めた」は『四百米接力賽跑、他跑最后一棒』と表現します。なお「マラソン」は『馬拉松』又は『馬拉松賽』といいます。

なおご参考までに、日本語では「走る」と使われている言葉で、中国語の「跑」が使われていない例を幾つか下記します。

- * 「筆が走る」……『信笔挥毫』『送笔自如』『文笔流畅』『刷刷地写出文章』
- * 「水のほと走る音が聞こえる」……『可以听到水的奔流声』
- 「ヒマラヤ山脈は東西に走っている」……『喜馬拉雅山脈呈东西走向』
- * 「空想に走る」……『耽于空想』
- * 「悪の道に走る」……『走上邪路』
- * 「感情に走って理性を失う」……『偏重感情、失去理智』

* 「敵陣に走る裏切り者」……『投敌的叛徒』

・
・
・

中国語で誤解しないように (第72回)

「出产」

「出产」という日本語は、「子供を生む」とか「分娩」を意味しています。一方、中国語の『出产』は「物を生み出す」とか「物を産出する」を意味しており、分かりやすく表現すると中国語の『出产』は日本語で「産出」と字をひっくり返した意味となります。もっと分かりやすく言えば、日本語の「出産」は人を生み出すことを意味し、中国語の『出产』は物を生み出すことを意味していると理解してよいでしょう。

中国語の『出产』は、「採れる」「作る」「産出する」等の意味で、「産物を作り出す」ことを表現しています。用例としては、「中国雲南省の大理では大理石が採れる」「葡萄は雨の少ない地方で多く作られている」、「江西省景德镇は精巧で美しい磁器を産出する」等です。中国語で『中国云南省的大理出产大理石』、『葡萄大多出产在下雨少的地方』、『江西省景德镇出产精美的瓷器』となります。また「四川盆地は物産が豊富だ」という場合も、『四川盆地出产丰富』と『出产を使って表現することが出来ます。

中国語で『出产』とは日本語で「産出する」との意味だと説明しましたが、では日本語と同じく『产出』という語彙を使って表現することはないかと調べましたが、実際にはその例がありません。例えば「この地方は石炭の生産が最も多い」とか「この一体はわが国で一番お茶の生産が多い地方だ」と表現する場合に、『产煤』とか『产茶』と『产』のみを使って、『这个地方产煤最多』とか『这个一带是我国产茶最多的地方』となっています。

日本語の「出産」は「子供を生む」の意味で、中国語では『生孩子』とか『产生孩子』と表現します。また名詞で日本語と同じ『分娩』もあります。用例としては「彼の奥さんが男の子を生んだ」があり、『他爱人生了男孩子』とか『他夫人产生了男孩子』と使います。その他よく使われる日本語の「出産」の例としては、「計画出産」を中国語では『计划生育』、「出産率」を『出生率』、「出産休暇」を『产假』、「出産予定日」を『预产日』と表現しています。

さて「奥様が無事ご出産おめでとうございます」を中国語で一般に『恭喜你爱人平安无事地生了孩子』と言いますが、文語的な言い方として「男児のご出産おめでとうございます」を『恭喜弄璋之喜』といい、「女児のご出産おめでとうございます」を『恭喜弄瓦之喜』と表現します。『弄璋』とは「男の子が生まれること」であり、『弄瓦』とは「女の子が生まれること」です。『璋』とは玉器の一種で、男の子が生まれると『璋』を手に握らせ、大きくなったら玉（ぎょく）のように美しい品德を備

えた人になるようにと願い、『瓦』とは糸を紡ぎながら巻き取る土器のことで、女の子が生まれると『瓦』を手に握らせ、大きくなったら糸紡ぎが上手になるようにと願った古事によるものです。出典は《詩経》だそうです。

・
・
・

中国語で誤解しないように (第73回)

「大事」

中国語で『大事』というと、「重大な出来事」と併せ「大々的にやる」との意味しかありません。一方日本語の方は「重大な出来事」は同じですが、「大々的にやる」との意味はありません。然し、それ以外にもいろいろな使い方があり、その点を説明しましょう。

中国語での「重大な出来事」を意味する用例として、「国家の運命に係わる重大な出来事」を意味する『国家大事』があります。これは日本語で「国家の大事に関心を寄せる」との表現あるように、使い方は中国語と同じで、『关心于国家大事』と表現します。また中国語でよく使うのは「一生の大問題」を意味する『终身大事』で、これは一般的に結婚を意味する場合に使われます。なお日本の諺として「大事の前の小事」という言葉がありますが、これは「大事の前に在って、小事を粗略にしてはいけない」との意味と「大事の前に在っては、小事に拘ってはいけない」との二つの解釈があり、それぞれ中国語で『想成大事、不能忽略小事』と『为了成大事、不妨放棄小事』と表現します。

次に「大々的にやる」との使い方として『大事渲染』があり、「ちっぽけな事をわざと大げさに言う」という場合に、『抓住一件小事、大事渲染』と表現します。なおこの『大事渲染』は『大肆渲染』ともいいます。

日本語としては、それ以外の使い方がいろいろとあり、第一に「大きな災い」との意味で「大事」を使います。「大事に至る」は中国語で『酿成大祸』となり、「幸い火事は大事に至らずに済んだ」は、『幸亏失火没造成大火灾』となります。

第二は「用心する」との意味で「大事」を使います。「大事をとってもう一日休んだ方がよい」との表現で、中国語では『还是当心点儿、再歇一天好』となります。

第三は「大切」とか「重要」の場合に「大事」を使います。「これは私にとって大事なものだ」とか「今が受験勉強に一番大事な時だ」、そして「物は大事に使おう」と言う場合です。中国語でそれぞれ『对我来说、这是很重要的東西』、『当前最重要的是、为应考而温课』、『東西要小心地使用』です。「物は大事に使おう」には『勿暴殄天物』との表現もあります。『暴殄天物』とは「自然の物をむやみやたらに無駄にする」とか「物を塵あくたのように無駄にする」との意味の四語成句で、『暴殄』を使って『要珍惜每一顆穀粒、不要暴殄』との表現があり、これは「一粒の穀物でも

大事にすべきで、粗末にしてはいけない」との意味です。

第四は「自然とか体を大事にする」との場合に使います。挨拶で「ではお大事に」と言う場合に『请保重身体』と使い、「自然を大事にする」との場合は『珍惜自然』とか『爱护自然』との表現をします。日本語では「大事」という言葉が中国語と異なって非常に広範囲で使われている事が理解出来ます。

・
・
・

中国語で誤解しないように (第 7 4 回)

「戸口」

日本語で「戸口」というのは、家の入り口という意味しかありません。「子供が戸口まで出てお父さんの帰りを待っている」とか「電車の戸口に立ち止まると後からの人の除魔になる」等の用例です。「戸口」は中国語で『门口』或いは『门口儿』といいますので、『小孩儿到门口儿去、等爸爸回来』とか『站在电车门口、影响后边来的人』となります。

一方中国語の『戸口』は日本語では「戸籍+住民票」の意味となります。日本では戸籍と住民票は本籍地と現在住居を登録している場所で別々に管理されていますが、中国では住居を登録している場所で、その地区の公安局の『街道办事处 (派出所)』で管理されています。

中国語の『戸』は日本語で「家」の意味であり、『口』とは「人」の意味なので、『戸口』とは住んでいる家とその家に住んでいる人を、1冊の「戸籍簿」に纏めて登録していることを意味します。この「戸籍簿」を『戸口本』或いは『戸籍本』といいます。「戸籍簿」には、その家の代表者が家長として登録され、その家に住む者全員の名前、生年月日並びに家長との関係が記載されています。若し娘夫婦一家が同居していれば、「家長の娘」「家長の娘の婿」「家長の娘の子供」と記載される訳です。またそれぞれ一人一人に『居民身份证 (住民登録カード)』が交付されます。勿論これには番号が付けられており、常時これを携帯しなければなりません。昨今日本では「住民票コード番号」の登録が大きな問題となりましたが、世界各国では国家が国民を住民コード番号で管理するのが当たり前であり、日本のように身分証明書を一切携行しなくてもよい国の方が例外といえる次第です。

私は60年代にアルゼンチンに住んでいました。アルゼンチンでは全ての居住者が「住民登録カード」を持たねばならず、それには単に番号、氏名、写真のみならず、親指の指紋まで掲載されていました。南米諸国は全てこのシステムを採用しており、このカードがあれば出入国が自由で、パスポートは不要でした。今でもこの管理システムは変わっていないと思いますが、その方法がコンピュータによるデータベースでの管理になっているでしょう。

中国には「都市戸籍（城镇戸口）」と「農村戸籍（农村戸口）」があることはご承知の所です。また戸籍に関する用語の中国語は、「戸籍法」は同じ『戸籍法』、「戸籍に入れる」は『报戸口』又は『上戸口』、「戸籍を抹消する」は『掉銷戸口』、「戸籍謄本」が『戸籍抄件』または『戸口抄本』、そして「戸籍抄本」は『部分戸口抄本』です。

なお『戸』とは「家」のことと説明しましたが、中国語に『家々戸々』という言葉があり、これは「家ごと軒並みに」の意味です。この用例として「祝祭日はどの家も国旗を掲げる」が『节日里家々戸々掛国旗』となります。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第75回）

「交差」

今回「交差」を取り上げるに当たり漢和字典と国語辞典を調べた所、漢和字典は我々が現在使う「交差」について、先ず「交叉」を取り上げ、次いで「交差」も同じとしており、他方国語辞典の方は「交差」のみで「交叉」の記述がありませんでした。と言うことは、昔は「交叉」であったものが、現代では「交差」が主となって使われていると思われます。日本語の「交差」とは2つの線条のものが交わることで、「線路が交差する」とか「立体交差」とかに使われています。

一方中国語の『交差』は「j i a o - c h a i」と発音し「役目を果たして複命する」との意味で、用例として「仕事のけりが付いていないから、帰っても複命が来ないよ」との使われ方をします。これは『工作没結束、回去不好交差呀』となり、後段は『回去交不了差呀』とも表現出来ます。日本語の「交差する」との意味の場合には、日本で昔使われていた『交叉』を使います。従って「線路が交差する」は『线路交叉』であり、「立体交差」は『立体交叉』、また「交差点」は『交叉点』、或いは『十字路口』となります。なお中国語の『交叉』には「交錯する、入り交じる」との意味もありますので、『交叉的意見（交錯した意見）』や『交叉作业（入り組んだ仕事）』、そして『交叉地进行工作（代わる代わる仕事を進める）』との使い方をします。『交叉』としては、日本語の「十字砲火網」が『交叉火力网』であり、面白い言葉としては『交叉縫式布』があります。これは一般に我々がいうヘリンボーン布地のことで、「杉綾織」ともいっています。「ヘリンボーン」は正式には「ヘリング（鯨＝にしん）の骨」のことで、鯨の骨のような織り模様とのことです。

さて中国語の『差』には「c h a」という発音と、「c h a i」という発音があります。「c h a」と発音した場合には一声と四声があり、一声の『差』は『时差』とか『偏差』のように「数の差や違い」に使い、四声の『差』は『差別』や『差异』という場合で「性質や状態の差、違い」に使います。意味は日本語と全く同じで、用例

としては『这两种東西、看不出什么差別（この2つのものは殆ど区別がつかない）』とか『同样的劳动力、操作方法不同、生産効率就会有相异（同じ労働力でも、作業の方法が違えば、生産効率も違ってくる）』となります。

一方『差』を「chāi」と発音した場合は、『差人去、把口信传达给父亲（人をして、メッセージを父親に伝える）』との「派遣する」との意味、『過去他在市政府当差（以前彼は市政府で下級役人として務めた）』との「小役人とか下級役人」の意味、並びに『兼差（兼務）』『出差（出張）』等の「職務とか公務」の意味で使われます。なお旧い日本語の使い方では、「差配」とか「差遣」と「chāi」と発音するのと同じ意味の使い方があり、「差配」とは所有主に代わって貸家や貸地を管理すること或いは人のことであり、「差遣」とは派遣するとの意味です。今では殆ど使われていません。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第76回）

「披露」

最近企業が従業員のために規定している「行動規範」の中国語訳のお手伝いをしました。「行動規範」のことを中国語では『行为规范』といいます。その中に「情報を公開する」或いは「情報を開示する」との言葉がありました。「情報を公開する」は中国語でも『公开信息』と表現しますが、「情報を開示する」は『披露信息』、「情報開示」は『信息披露』と表現することを認識しました。

日本語で「披露」というと、世間に広く発表するとの意味で「結婚披露」とか「開店披露」とかに使われ、また手元にある文書を相手の目の前で開いて見せる場合、自分だけが知っている話を相手に話す場合、或いは骨董品をわざわざ相手に見せる場合等、ある限った機会や場所で公開する場合に「披露」という言葉を使っています。例えば、「皆さんに結果を披露して下さい」「彼にとっておきの話を披露した」「已むを得ず関係文書を彼に披露した」「我家に昔から伝わった古い壺を披露した」等の使い方です。然し情報の場合は「企業が持つ情報を披露する」との使い方をせず、必ず「企業の情報を公開する」或いは「企業の情報を開示する」との表現をします。

「結婚を披露する」は『宣布结婚』で「結婚披露宴」は『结婚喜筵』、そして「開店披露」は『声明开业』或いは『宣布开业』と表現します。「皆さんに結果を披露して下さい」は『请把结果给大家公布一下』、「已むを得ず関係文書を彼に披露した」は『不得已把有关文件让他看了』或いは『～披露他了』、「とっておきの話を披露した」は『平时不讲的话特别向他说了』、そして「我が家に昔から伝わった古い酒壺を彼に披露した」は『在我家里从以前传来的古酒坛给他看了』となります。

扨て中国語の『披露』とはどのような意味かを辞書で見ると「発表する」「公

表する」とのことであり、又「顔や口振りで表す際に披露を使う」となっています。中国の日本語をよくご存知の方にお聞きしたら日本語の「披露」と中国語の『披露』では若干ニュアンスが異なると言われ、日本語の「情報を開示する」という場合には『披露』を使うのが常套的とのことでした。

その他『披露』を使う例としては「各新聞紙はみなこのスキャンダルを掲載した」というのがあり、この場合は「公表」或いは「発表」ですから、『各家报纸都披露了这件丑闻』と表現します。「スキャンダル」は中国語で「悪い噂」或いは「醜聞」との意味から『丑闻』といいます。また「汚職」のことを『丑事』といい、「土木工事業界の汚職」を『土木工程行业的丑事』又は『土木工程界的丑事』と表現します。

なお中国語の『披露』にはもうひとつ「顔や口振りでに表す際に披露を使う」との意味があります。用例としては『披露肝胆』という表現があり、「肝臓や胆嚢を開き表す」との意味から、「真心を見せる」「誠意を披瀝する」ことを意味します。この『肝胆』とは、人間が生きて行く上で絶対に必要な肝臓と胆嚢との関係から、心とか行動に於ける密接の人間関係を意味しており、『肝胆相照』は「肝胆相照らす仲」であり、『肝胆俱裂』は「心も張り裂けんばかり」を意味し、『肝胆过人』は「勇気が人一倍優れていること」を意味します。

今回「行動規範」の中国語訳をお手伝いをした際に、「情報を開示する」の中国語の表現は『信息进行披露』が常套語であることを認識しましたので、その関係ある用例と併せて記載しました。

・
・
・

中国語で誤解しないように (第77回)

「告訴」

中国語の『告诉』はこの「中国語で誤解しないように」との表題でいえば最初に見えるべき言葉かも知れません。簡単に言えば日本語の「告訴」は「犯罪の被害者又はその法定代理人が犯罪の事実を申告してその処罰を求める」ことであり、中国語の『告诉』とは口頭で「告げる、教える、知らせる」と全く違った意味を表現しているからです。

日本語の「告訴する」は中国語で『控告』、『提起诉讼』或いは簡単に『起诉』といます。「裁判所へ告訴する」は『向法院控告』、「告訴状」は『诉状』、「告訴人」は『控告人』となります。一方中国語の『告诉』は「このことは私のママには言わないで」が『这件事别告诉我妈妈』、「何かニュースがあったら教えて下さい」が『有什么消息、请告诉我一声』、「彼は誰にも知らせないで出発した」が『他对谁也 没告诉就起身了』等の用例です。

『告诉』の説明はこれだけなので、第76回に説明した企業の「行動規範」を中訳

した際に承知した中国語も着実に現代化されている点を、2つの例を挙げて説明します。そのひとつは「公務員」で、もうひとつは「転職」です。

日中辞典によると、中国語の『公务员』とは「官公庁や団体等の雑役係又は用務員のこと」であり、日本語の「公務員」には『公务人员』或いは『政府机关工作人员』を用いると説明されています。然し現在の中国では『公务员法』という法律が施行されたため、日本語の「公務員」と同じく、官公庁や団体等に勤務する全ての人を『公务员』というようになりました。日本語でも偉い公務員と一般の公務員を分けて「公職者」と「一般公務員」と表現する言葉があるように、『公务员法』もその第21条に「公務員の職務は、領導職務と非領導職務の2つのカテゴリーに分ける」と明確に規定しており、『領導职务』のトップは『国家级正职及び国家级副职（国家クラスの正職長及び副職長）』からボトムは『乡科级正职及び乡科级副职（市町村の課長及び副課長）』とされ、それ以外の人が『非領導职务（非役職者）』とされています。

扱ってもうひとつは「転職」です。「転職」を従来は『调职』『调转工作』又は『转业』と言っていましたが、現在は従来口語であった『跳槽』が常套語の地位を占め、政府等の公式文書は別ですが、一般的にはそれが当り前に使われているとの事です。辞書によると『跳槽』とは「くら替える」との意味から、「今まで付き合ってきた女を捨てて新しい女にくら替える」とか「無理に離婚して、再婚すること」との意味に使われているとのことで、余りよい表現ではありません。計画経済の時代には政府が命令する以外に転職などなかったのが、改革開放の時代になって外資企業が出現し、能力のある人は高い給料と地位を求めて自由に転職が出来るようになったので、それを羨ましく思った一般の人たちが「転職」を悪い表現で『跳槽』と言ったのかも知れません。それが何時しか常套語となり、現在では普遍的に使われる地歩を確保したものだと思われます。因みに『跳槽』の語源は「馬が空になった自分の飼葉桶を飛び越して、他の馬の飼葉桶の所へ行き、その餌を食いあさる」との意味だそうです。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第78回）

「花（日本語）」

今回は「花」という言葉を取り上げます。「花」というたった一字の言葉ですが、日本語も中国語も非常に広範囲で使われており、本来的な「咲く花」の「花」は全く同じ意味ですが、その「花」の使い方に違いがあるので取り上げてみました。内容が沢山あるので、今回は「日本語の花」を取り上げ、次回に「中国語の花」を取り上げます。

日本語の「はな」には「花」と併せて「華」を使います。「花」は一般的のもので「華」はきらびやかで美しいものや優れた性質を表します。当然以下の表現にも日本

語として「華」を使うべき所がありますが、今回は全て「花」で表現します。

日本語で「花」というと「桜の花」です。平安後期以降の和歌で「花」と表現した箇所は誰でも「桜の花」と理解しました。中国で「花」といえば「梅の花」を指すことは皆様もご存知の通りです。この「花」使った言葉としては「花は根に、鳥は古巢に帰る（落叶归根、飞鸟归巢）」、「花に水をやる（给花浇水）」、「お花見（看櫻花）」、「花を植える（栽花）」等です。その他「花に嵐」があり、中国語で『花遇暴风』『从云遮月』そして『好事多磨』で表現します。「花は折りたし、こずえは高し」は『欲采花而枝太高、可望而不可即』となるでしょう。またいろは歌留多にある「花より団子」は風流を理解しない意味でしたが、今では「風流より実利を取る」との意味に使われており、『不求风流、但求实惠』や『舍华求实』、『避虚就实』となります。「花」の最後は「徒（あだ）花」です。徒花は咲いても実を結ばない花、季節はずれに咲く花のことで、中国語で『谎花』といい、「南瓜の徒花が落ちた」が『南瓜的谎花落了』、「インフレ景気は一種の徒花だ」は『通货膨胀的繁荣是一现的昙花』と表現します。この他「浪の花」とは『盐』ことです。

「花」にはそれ以外にいろいろな表現があります。先ず「美しいこと」や「盛りである」との表現です。これには「花の装い」「花のかんばせ」「両手に花」「話に花が咲く」「私にとって今が人生の花だ」「花の都」「社交界の花」等があり、「花の装い」は中国語で『华丽服装』、「花のかんばせ」は『貌美如花』或いは『花容』、「両手に花」は『美人扶持左右』ですが、意識として『名实兼得』や『左右逢源』があります。「話に花が咲く」は『说起话来、谈得很热闹』ですが、その後半の「花が咲く」を『谈得兴致勃勃』や『海阔天空』、『津津有味』と表現出来ます。「私にとって今が人生の花だ」は『现在是我的人生中最美好的时期』であり、「花の都」は『繁花似锦的城市』や『花团锦簇的都市』、「社交界の花」は『交际花』です。

「花」には「良いこと」や「相手に名誉や花を持たせる」表現があります。「花も実もある取り計らい」「言わぬが花」「死後に花を咲かせる」「他の人に花を持たせる」「花を添える」「花を咲かせる」等の表現です。「花も実もある」は中国語で、『有名有实』や『名实俱备』ですが、「花も実もある取り計らい」は『情理兼顾的圆全的处理』となるでしょう。「言わぬが花」は『不说为妙』と表現し、「死後に花を咲かせる」は『死后留名』、「他の人に花を持たせる」は『给别人面子』や『让他脸上增光』、『荣誉让给别人』と表し、また「老人に花を持たせる」の『让老人沾光露脸』との表現です。「花を添える」には「錦上花を添える」という『锦上添花』があり、「花を咲かせる」は『功成名就』ですが、「彼はかつて花を咲かせたことがあった」は『他也曾显赫一时』と表現されます。

これ以外に芸人に出す祝儀を「花」といっています。『賞钱』とか『小費』のことです。昔日本にも存在した遊郭でも「花」を使っただけでいろいろな表現がありました。

・

・

中国語で誤解しないように (第79回)

「花 (中国語)」

今回は中国語の『花』を取り上げます。日本語の「花」は名詞のみでしたが、中国語の『花』には名詞と動詞があります。先ず名詞から説明すると、名詞の一番目は、「咲く花」の「花」であり、『一朵花儿 (一輪の花)』『一株梅花 (一株の梅)』です。

次いで「造花」とか「花のような形をしたもの」に『花』との表現を使っており、『翠花』は「翡翠をちりばめて作った髪飾り」、『灯花儿』は「蠟燭の芯に出来る黒い燃え滓」、『火花』は日本語と同じ「火花」、その他『雪花 (ちらちら降る雪)』『浪花 (波のしぶき)』『血花 (血しぶき)』等です。また「砲弾が炸裂した」も『炮弹开了花』と炸裂した様子を『花』で表現しています。

「花火」も『花』で表現します。『礼花』は「祭典で打ち上げる花火」、『花炮』は「花火と爆竹」、『放花』は「花火を打ち上げる」です。因みに「爆竹を鳴らす」は『放炮』です。

「花で飾り付けたもの」や「模様のついたもの」、「色とりどりのもの」も『花』で表現します。『花圈』は「花輪」、『花布』は「模様のある布、サラサ」、『白地藍花儿』は「白地に青い模様」、『这个衣料花儿太大』は「この生地は柄が大きすぎる」、そして『花猫』とは「三毛猫」のことです。その他『操场周围挂着花花绿绿的彩旗 (運動場の周りには色鮮やかな旗が飾られている)』とか『大大小小的都花花搭搭地摆着 (大小さまざまなものが取り混ぜて置いてある)』等の『花』を使った表現もあります。

「目がかすむ」とか「目がちらちらする」との場合も『花』を使います。『眼花』は「目がかすむ」であり、『昏花』とは「目がぼんやりとかすむ」ことで老人について使うことが多く『老眼昏花 (老眼がぼんやりかすむ)』と使います。因みに「老眼鏡」は『花镜』といい、「老眼になる」を『眼睛老花』といい、全て『花』です。

「人をたぶらかす」「誠意のない」「嘘の」「手管を弄する」との場合に『花』を使います。『花招』とは「手管を弄する」とか「武術で見た目には綺麗だが実用にはならない手を使う、宣伝効果を狙ったもの」等の場合に使い『玩弄花招 (手管を弄する)』とか『耍花招 (手練手管を使う)』と表現します。また『花胀』とは「水増しをした勘定」であり、『弄花胀』は「勘定をごまかす」です。『花言巧語』との四語成句があり、「巧言」とか「甘言」の意味で、『不要听他的花言巧語 (彼の口車に乗るな)』と表現します。

その他「戦場で受けた負傷」「綿花」「天然痘」「色町」等の場合にも『花』を使っています。『挂花』が「戦場で受けた負傷」で、『挂了两次花 (戦場で二度負傷した)』と表現し、『弹花』が「綿花を打つ」、『花纱布』が「綿布」、『天花』が「天然痘」、「種痘する」を『种花儿』と言います。また色町関係の言葉としては、

『花街柳巷』が「色町」、『寻花问柳』が「色町に遊ぶ」です。なお『花魁』は「他に先駆けて咲く花」で「梅の花」の別称ですが、これから転じて「名妓」との意味が出来ました。日本語の「花魁（おいらん）」の語源です。

次に動詞の『花』の説明をします。まず「使う」「消費する」「費やす」の意味があり、『花費』、『花钱』或いは『花消』で表現します。『办一次婚事、要不少花費（結婚式を挙げるにはかなりの費用がかかる）』、『花心血（心血を注ぐ）』、『该花的花、该省的省（金を使うべきところは使い、節約すべきところは節約する）』等の使い方をします。もうひとつの動詞として『花』には「流血の怪我をさせる」との意味があり、『小李的头被花了（李君は頭を殴られて血が出た）』と表現します。

『魚花（稚魚）』、『牙花（歯石）』、『泪花（目に浮かんでいる涙）』、『零花（小遣い）』等々『～花』との言葉がたくさんあり、また『借花献佛（貰い物で義理を果たす）』等の四語成句もたくさんあります。中国語も日本語も語源は共に「咲く花」の『花』ですが、これだけ異なる使い方をされるのが非常に面白い次第です。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第80回）

「経過」

「経過」という日本語には「時の経過」と「事柄の経過」の2つの意味を持っています。時の経過には「時間の経過につれて状況はよくなった」とか「年月はどんどん経過する」との表現があり、事柄の経過には「経過報告」とか「術後の経過状況は非常によい」等の表現があります。時の経過では中国語として『流逝』が使われ、事柄の経過としては、日本語と同じ『经过』そして『过程』が使われます。「時間の経過につれて状況はよくなった」は『随着时间的流逝、情况越来越好』であり、「年月はどんどん経過する」は『岁月一刻不息、飞速流逝』と表現されます。一方事柄の経過では、「経過報告」はその通りの『经过报告』、そして「術後の経過状況は非常によい」は『手术后的经过情况非常好』となります。なお「研究の経過を説明する」を中訳する場合は『说明研究的过程』がよいでしょう。

一方中国語の『经过』は、「事柄の経過」は前出の通り日本語と同じですが、それと併せて「(ある場所を) 通過する、通る」、「(時間が) かかる」、「～を経て、～によって、～を通じて、～をした結果」等々の場合に『经过』が使われています。この点が日本語の「経過」と異なる点です。

ある場所を通過する用例としては、「天津を経由すると遠廻りになります」とか、「ここから西に行って、日本橋通りを通り過ぎると、直ぐに東京駅です」があり、中国語では『经过天津的话、绕远了』や『从这儿往西走、经过日本桥大街、就到东京车站了』と表現します。また『从』或いは『打』+場所の名詞+『经过』で、その場所

を「通る」との表現が出来ます。「あと10分すると最終バスがここを通ります」とか「デモ隊が天安門前を通る」との場合に『再过五分钟、还有一辆末班车从这儿经过』或いは『游行队伍打天安门前经过』の表現です。

時間がかかる例としては、「このトンネルを通り抜けるのにまるまる10分もかかった」とか「桂林の鍾乳洞はたいへん長い年月を経て形成された」があり、中国語では『穿过这个隧洞整整经过了10分钟』や『经过很长岁月、才形成了桂林的钟乳洞』となります。

中国語の『经过』のもっとも特別な用法が、ある過程や事柄、手続きなどの実現を経て状況に変化が生じたり、目的が達成されたりすることを表現するもので、「～を経て」「～によって」「～を通じて」「～をした結果」等の使われ方です。用例としては「今回の会議を経て、皆の意見の相違が解消した」、「この調査によって、事の真相を理解することが出来た」、「今回の挫折を通じて、彼は大いに見識を広めることが出来た」、「皆で討議した結果、この具体案を採用した」等があり、それぞれ中国語で『经过这次会议、大家的分歧消除了』、『经过这个调查、才能理解了事情的真相』、『经过这次的挫折、他能增长了不少见识』、『经过大家的讨论、采用了这个具体方案』となります。

なおこのような「～によって」や「～を通じて」の使い方として『通过』という言葉もあり、『通过老李的作媒、他们俩结了婚（李さんの媒酌によって、彼等二人は結婚した）』や『经过组织、我们调查情况（組織を通じて、我々は事情を調べる）』があります。然し『经过』は時間と事柄の両方に使えますが、『通过』は事柄だけで、時間には使えません。

・
・
・
—

中国語で誤解しないように（第81回）

「無論」

日本語での「無論」という言葉は「論ずるまでも無いこと」との意味で「言うまでもなく」とか「勿論」と副詞的に使われています。その使い方は「英語は無論のこと中国語も出来ます」「無論私もお供します」「彼は無論のこと彼の仲間も当然賛成してくれるでしょう」「私も無論賛成します」「無論そんなことは誰もやりたくない」等々があります

この「無論」、即ち「言うまでもなく」とか「勿論」を中国語では『不用说』又は『当然』で表現しています。上記の例では『不用说英国話、也会说中国話』『当然我也去』『不用说他、他的伙伴也当然赞成』『我也当然同意』『不用说、那种事情谁也不要干』となります。

一方中国語の『无论』は日本語とは異って、「～にもかかわらず」とか「～を問わ

ず」「～にしても」「～でも」等の接続詞的な使い方をします。疑問や選択的な内容を表す文章に使用して条件の如何にかかわらず、結論や結果が同じという場合に使われ、『都』或いは『也』と呼応しています。用例として『无论做什么工作、他都非常认真』とか『无论什么人、都各有长处和短处』『大家的意见、无论好不好、领导应当都认真听取』『这条意见、无论对我对你都是很重要的』『无论困难有多大、决吓不倒他们』『无论什么事、大家都愿意找他谈』等々があります。

この日本語は「どんな仕事でも、彼は非常に真面目にやります」「人は誰でも、皆長所と短所があります」「人の意見は、それが良い意見でも悪い意見でも、指導者はどの意見も真面目に耳を傾けなければなりません」「この意見は私にとっても貴方にとってもたいへん重要です」「困難がどんなに大きくても、彼等は決してたじろぎません」等です。このように「無論」は日本語と中国語で全く異なる使い方がされています。

なお日本語で「無論」という場合に「勿論」という言葉も使われています。然し中国語の『勿论』の『勿』は「勿れ」の意味であり、現在では『別～』とか『不要～』として使われます。然し文語的表現には通常的に使われており、よくご存知の言葉としては『请勿随地吐痰（唾を吐く勿れ）』とか『请勿抽烟（喫煙禁止）』があります。

「立入禁止」の立札として『闲人免进』がありますが、これは『闲人勿入』とも表現します。また「己の欲せざることを人に施す勿れ」という格言がありますが、これは『己所不欲、勿施于人』と表現します。『勿论』は「論ずる勿れ」との意味だけで、副詞的や接続詞的に他の文章と一緒に使われることはありません。

・
・
・

中国語で誤解しないように (第82回)

「気味」

日本語では「気味が悪い」とか「風邪気味です」というように「気味」という表現をよく使います。ちょっと違った表現としては「ざまあみろ」という時に「いい気味だ」との言い方もあります。どのような使われ方を分析してみると、第一に「気持ち」とか「心情」を表す場合があります、これが「気味が悪い」で「最近地震が頻繁に起こって気味が悪い」とか「彼が気味の悪い笑いをしている」、そして「何と気味の悪い静けさだ」との表現があります。中国語では『近来地震很多、令人可怕』や『他的笑孔令人毛骨悚然』となり、また『哎呀！ 多么死一般的寂静』となるでしょう。第二が「風邪気味です」という「いくらかその傾向がある場合」に使います。「風邪気味なので、今日は会社を休みます」とか「仕事をし過ぎて些か疲れ気味です」との使い方、中国語では『我觉得有点儿感冒、今天没上班了』、『我工作过度、觉得有点儿累了』の表現となるでしょう。第三が「ざまあみろ」という時の『いい気味だ』と

の表現で、中国語では『活该!』と『!』を付けた表現をします。『活该』は「当たり前だ」や「当然のことだ」との意味で、『活该如此(そうなるのは当然だ)』との使い方をします。

他方中国語の『气味』は、日本語とは異なり一つは「匂い」「香り」「臭気」の意味があり、もう一つは「性格」「気配」の意味があります。用例としては「よい匂いがふんぷんする」「ライラックの花はよい香りがする」「最近下水道でへんな匂いがする」等であり、中国語では『气味芬芳』『丁香花的气味很好闻』『最近下水道总有怪气』と表現します。もう一方の「性格」には『气味相投』があり、これは「馬が合う」とか「意気投合する」の意味です。また「気配」では『他的话里有一种威胁人的气味(彼の話には脅かしめいた所がある)』の使い方があります。「香り」もよい香りには『香气』或いは『香味』との表現があり、上記の用例は『香气芬芳』『丁香花的香味很好闻』とも表現出来ます。一般的に『气味』は悪い意味の使い方をされるようです。

なお『气味』は気体の匂いを指していますが、呼吸を意味する息は『气息』で表現します。『时代气息(時代の息吹)』や『生活气息(生活の息吹)』の使い方をし、また「木々が芽を吹き、春の息吹がいっぱい」という場合に『万木发芽、充满了春天的气息』と表現します。この『气息』にはよくない意味合いを含んでいません。

・
・
・

中国語で誤解しないように(第83回)

「得意」

日本語の「得意」には「得意満面である」という「非常に自信をもって満足している」との様子を表したものの、「テニスが得意だ」という「上手である、得手である」との意味、また特別な表現として非常に懇意なお客様との意味の「お得意様」という「得意」があります。

このうち「非常に自信をもって満足している」との点は、中国語も同じ表現をします。例えば「彼は得意の絶頂にある」は『他在得意极了』、「彼は得意満面の様子で話し出した」は『他得意洋洋的样子说出来了』、「彼は褒められれば褒められるほど得意になる」は『越夸奖他、越自鸣得意』があります。

「上手である、得手である」との意味の「得意」は、中国語で『擅长』或いは『拿手』で表現します。例えば「彼は国防と対外関係を最も得意としている」が『他最擅长于防务和对外关系的』、「彼が得意とするのは数学と英語だ」が『他擅长的是数学和英语』、「得意な手品をやってみせる」が『变拿手的戏法给人看』、「彼は得意な歌を歌った」が『他唱了拿手的歌儿』等々です。

また「お得意様」は中国語では『顾客』或いは『主顾』です。用例としては「長年

のお得意様」は『多年的主顾』、「お得意様を作る」は『招揽顾客』となります。

他方中国語の『得意』が持っている「非常に自信をもって満足している」以外の用途としては、「調子がよい」「思い通りにことが運ぶ」の意味と、「意を得た」との意味の「気に入る」の表現があります。「調子がよい」「思い通りにことが運ぶ」の例としては、『听说你最近很得意吧（君は近ごろ非常に調子がよいようですね）』や『他做得万事如意、很得意的（彼がなすことは、総てが思い通りに運んでいる）』があり、「気に入る」「意を得た」の例では『他是我得意的学生（彼は私の気に入りの学生です）』や『得意之作（会心の作品）』があります。

なお四語成句として『得意忘形』や『得意忘言』があります。『得意忘形』は「得意になって我を忘れる様子」或いは「得意で有頂天になっている様子」とのことであり、一方『得意忘言』は「原理を会得してしまうと、それを説明してあった言葉を忘れる」との意味から、「お互いに暗黙の内にその意を悟る」との場合に使われるそうです。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第84回）

「合計」

日本語の「合計」は「数を皆合わせる事」即ち「全部合わせて計算する」との言葉です。同じ意味で「総計」との表現もあります。中国語も同じで『合计』や『总计』との言葉がありますが、併せて『共计』『总共』『一共』等のいろいろな表現があります。例として「合計幾らですか」が『总共多少』或いは『一共多少钱』、「中国の全人口を合計すると13億余りになる」が『总计中国全部人口达13亿多』であり、「合計千冊の本を図書館へ寄贈した」が『送给图书馆共计一千本书』です。

なお中国語では、評点の場合の「得点数」を『分数』といい、試合の場合の「得点数」を『得分』といいます。従って試験の「合計得点」は『合计分数』であり、試合の「合計得点」は『合计得分』となります。

日本語の「合計」にはこの意味しかありませんが、中国語の『合计』は、それ以外に「考えめぐらす」や「相談する」との意味を持っています。ここで重要なことは、数を合計する『合计』は『h e（2声）j i（4声）』と明確に『j i』の4声を発音する必要があり、他方考えめぐらすや相談するとの意味の『合计』の場合は『h e（2声）j i（轻声）』と『j i』を轻声で発音することです。

「考えめぐらす」との同じ意味で、日本語では「あれこれ考える」「胸算用する」「思案する」等いろいろな表現が出来ます。これ等が皆『合计』で表現出来る次第です。用例としては『他合计来合计去、总算想出一个好办法』が「彼はあれこれと考えめぐらしていたが、やっとよい方法を考えついた」、『他一天到晚、心里老合计那件

事』が「彼は一日中その事で思案している」、『他成天价合计怎么发大财』が「彼は一日中あれこれと大儲けすることを胸算用している」等です。

一方「相談する」との意味の場合は、「皆で検討する」との意味も含まれ、用例としては『这件事咱们合计合计看怎么办好』が「本件についてどうすれば良いか、皆で相談しましょう」、『我有点儿事、想找你们合计一下』が「私は君達に是非検討して貰いたい事がある」、『大家合计这事应该怎么办』が「この件をどうすべきか皆さんで検討して下さい」、『用什么方法保证完成任务、大家应该合计』が「どの様な方法で確実に任務を達成するかを、皆でよく検討すべきである」等です。

・
・
・

中国語で誤解しないように (第85回)

「就業」

「就業」という日本語は、会社の「就業規則」や「就業時間」という言葉がある様に仕事をしている人の為の規則とか仕事をしている人の勤務時間という意味です。また「就業人口」という言葉もあり、これは職業を持っている人の総数の意味です。この様に日本語の「就業」には「仕事をしている人」並びに「職業を持っている人」の2つの意味があります。

一方中国語で『就业』というと、「仕事に就く」即ち「就職する」との意味で、日本語の意味と全く異なります。従って「就業規則」を漢字だからといってそのまま中国語で『就业规则』と訳すと、中国の人は「就職する為の規則」とってしまうでしょう。従って「就業規則」のことを中国語では『职工守则』といわねばなりません。

『职工』とは日本語の工場で働く「職工」のことではなく、『职员和工员』とのことで、日本語の「従業員」のことです。「従業員の守るべき規則」ですから「就業規則」となる訳です。同じ事が「就業人口」にも言えます。日本語の「就業人口」は「現在職業に就いている人の数」ですが、中国語で『就业人口』というと「新たに就職した人の数」のことで、全く違った意味になってしまいます。従ってこれは『工作人口』といわねばなりません。

また中国語で『就业』というと日本語の「就職する」意味だと説明しましたが、一般的に「就職する」は『参加工作』とか『找到工作』といいます。

扱って用例の方は先ず日本語からです。「従業員は全員就業を拒否した」は『全体职工拒绝上班』となり、「ストライキに勝って全員就業した」は『罢工胜利后、全体职工复工』となります。また「就業時間は朝9時から午後5時までです」は『工作时间是从上午9点钟开始、到下午5点钟为止』、「百貨店の従業員は休日も就業しています」は『百货店的工作人员假日也上班』となります。

中国語の用例としては、『明年春天毕业的高中学生中、约有八十万希望就业』が

「来年春に卒業する高校生の中で、約80万人が就職を希望している」、『现在就业的机会越来越少』が「現在就職の機会がますます少なくなった」、そして『以前在中国、中央的人事部有计划地安排全部大学毕业生的就业』が「以前中国では中央の人事省が大学卒業生全ての就職を計画的に手配していた」となります。

「就業」という言葉は中国で働く日本人が非常に使いやすい言葉なので、是非使い方を間違えない様にして下さい。

・
・
・

中国語で誤解しないように (第86回)

「恰好」

同じ「恰好」と書いても中国語と日本語の使い方が全く異なります。中国語の『恰好』は「ちょうど」「恰恰」「いい按配に」「うまい具合に」と副詞的な使い方をします。『恰好今天我有空儿』が「ちょうど(うまい具合に) 今日私は暇があります」とか『我手里的钱恰好够买一辆自行车』が「私の手許に(いい按配に) ちょうど自転車を一台買う金があります」等の使い方です。

『恰好』が中国語で使われる場所は、(1) 恰好+数量詞、(2) 恰好+形容詞、(3) 恰好+主語の3つがあり、そして現在は余り使われていませんが(4) 補語としても使われます。(1) の用例として『从这儿到那儿恰好一百米(ここからあそこまでちょうど百米あります)』や『在北京住了恰好一个月(北京でちょうど一ヶ月滞在しました)』があります。(2) の用例は『密度恰好够(密度がちょうどよい)』や『大小恰好合适(大きさがちょうどぴったりだ)』や『高矮恰好相同(高さがちょうど同じだ)』等で、(3) として『我正想看电影、恰好他给我送票来了(私が映画を見ようと思った所へ、いい按配に彼がチケットを持ってきてくれた)』や『恰好在丸善书店找到我要的那本书(うまい具合に丸善書店で探していた本を見つけた)』があります。(4) の補語としての使い方は『你来得恰好、我正找你呢(ちょうどよい所に来てくれた、私は君を探していたんだ)』です。なお中国語には似た表現として『恰巧』、『正好』、『恰恰』等があります。

一方日本語の「恰好」は「格好」とも書きますがいろいろな意味を表しています。

(1) 姿や身なり、姿態や体面・体裁、外形や形状を表現する場合：

「恰好のよい人(容貌端正の人)」、「こんな身なりで失礼します(穿这身打扮見您、真是失礼得很)」、「わざと怒った恰好をする(故意装做生气的样子)」、「体裁が悪い(不成样子)」、「だいたい恰好がついた(大体上象回事了)」、「上着の恰好が気に入らない(上衣的样子不称心)」、「あそこに奇妙な恰好の石がある(那里有形状稀奇古怪的石头)」、「四十恰好の女性(四十岁左右的妇女)」、「みんな同じ年恰好です(大家的年紀都差不多)」等です。

(2) 手頃である、似合わしい、適当である等を表現する場合：

「あの青年にこの仕事が恰好なのです（那个青年做这个工作正合适）」や「これは恰好な価格です（这个价钱比较合适、这个东西比较便宜）」があります。

『恰好』という二文字の言葉ですが、中国語と日本語では全く異なった表現をする点が面白い所です。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第87回）

「奇妙」

日本語では「奇妙きてれつ」とか「奇妙だなあ！」とよく「奇妙」という言葉を使います。この「奇妙」の意味は「不思議なこと」や「風変わりなこと」であり、また「珍しく優れている場合」に使われます。例えば「奇妙きてれつな発想」は「風変わりな発想」とも表現出来、中国語では『离奇古怪的想法』となります。この「奇妙きてれつ」を漢字で書くと「奇妙奇天烈」となります。「奇妙だなあ！」は「不思議だなあ！」と同じ表現ですから、中国語で『真奇怪！』です。

このように日本語の「奇妙」を中国語では『奇怪』『出奇』『奇异』で表し、た単に『怪』でも表現します。『奇怪』の例は「奇妙な習慣」が『奇怪的风俗习惯』、「彼の話はちょっと奇妙だ」が『他的话、说得有点儿奇怪』となります。『出奇』の例としては「今年の冬は例年になく非常に寒い」が『今年冬天真冷得出奇』、「あの朝、海は奇妙に静かだった」が『那天早晨、大海出奇地宁静』、です。『奇异』の例は「奇妙に思う」が『感到奇异』となります。また『怪』一字の例として「私が外出する時は奇妙に雨が降る」が『真怪、我一出门就下雨』、「彼は奇妙な格好をしている」が『他打扮得怪模怪样』があります。

日本語の「奇妙」の使い方の特徴があるのが「この薬は奇妙によく利いた」との表現です。これは「この薬は（余り利かないと思っていたが）思いのほかよく利いた」との意味を表現しており、「珍しく優れている場合」の用例です。中国語では『这个药、出乎意料地有了效了』となるでしょう。

一方中国語の『奇妙』が表現する意味は「巧妙で優れている、巧妙奇抜である、見事である」というもので、事物をたいへんよいと誉める場合に用いられるケースが多いようです。その用例としては『中国杂技团演出了许多奇妙的节目（中国の曲芸団はたくさんの巧妙奇抜な演技をやってみせた、或いは見事な演技をやってみせた）』、『奇妙的结构（巧妙な構造）』、『这些鱼的回游能力是很奇妙的（これら魚の回遊能力は非常に見事である）』等です。

『奇妙』という言葉が日本語と中国語で全く異なる意味を持っていることはたいへん面白く、正に『妙』の字から出来た四語成句『莫名其妙（訳が分からない、不思議

である)』と言える次第です。

.

.

.

中国語で誤解しないように (第88回)

「試験」

学生時代はともかく、社会人になってもいろいろな試験で悩まされています。この日本語の「試験」とは「自分が学んだ学術や技術について、その優劣を判定するための成績を出す目的で行われるもの」です。これ以外に「物の性質や性能を判定するために行われる試験」があり、日本語の「試験」はこの2つの意味を持っています。要は人を対象としてテストするのか、或いは物を対象としてテストするのかの違いですが、人の場合は能力を、そして物の場合は性質や性能をテストします。

中国語ではこの2つが明確に区別されています。人を対象とする場合は『考试』で表現し、物を対象とする場合は日本語と同じく『试验』で表現します。人を対象とする試験の用例では「試験を受ける (参加考试)」、「入学試験 (入学考试)」、「試験地獄 (考试难关)」、「中間試験 (期中考试)」、「面接試験 (面试)」、「口頭試験 (口试)」、「試験問題 (试题)」、「試験答案 (试卷)」があり、また「試験に合格する」は『考试及格』或いは『被录取』であり、「試験に落第する」は『没有考上』或いは『没被录取』となります。

一方物を対象とする試験の場合は日中双方とも「試験」を使い、その用例としては「私は新製品の機能を試験している」が『我正在试验新产品的机能』であり、「何回も試験をしてついに新薬の開発に成功した」が『经过反复试验、终于研制成功了一种新药』となります。また「テストプラント」は『试验性工厂』です。

中国語で『考试』の『考』は「試験する、検査する、考える、研究する」の意味があり、『试验』の『验』は「調べる、確かめる」の意味です。この『考』+『验』で中国語には『考验』という言葉があり、この説明からすると「考えて確かめる」或いは「研究して調べる」との意味になりそうですが、実際の『考验』の意味は「試練を与える」とか「試す」との意味です。「試練を与える」の用例として『面临严峻的考验 (厳しい試練に直面する)』、『久经考验 (長い試練を乗り越えてきた)』、『艰苦的生活考验了我 (苦しい生活が私に試練を与えた)』があり、一方「試す」の用例として『困难考验人的意思 (困難は人の意思を試す)』や『考验一下他是不是真心 (彼が本心かどうか試してみる)』があります。

日本語の「試験」は中国語でその対象により『考试』と『试验』の2つの表現となりますが、その2つの言葉から出来た『考验』は全く独特な意味を持っており、たいへん面白いので記載しました。

.

・
・

中国語で誤解しないように (第89回)

「温存」

「温存」は日本語の意味と中国語の意味が全く異なる語彙の一つで、日本語を勉強した中国の人でも、例えば初めて「悪習を温存する」との言葉を聞いた時は、一体何を意味しているのか分からなかったと言うほどです。

日本語の「温存」は「使わないで大事に保存する」との意味を持っています。漢字の意味の「温めて存する」を「懷に温めて保存する」と理解すると素直にその意味が分かります。用例としては「明日の試合に備えて戦力を温存する」「悪習を温存して改めない」「二つの勢力を温存してバランスを取る」等があります。

一方中国語の『温存』は、どうやら「心に温めた存在とする」と理解する様で、動詞として（多くは異性に対して）「やさしくいたわる」とか「ねんごろに慰める」として使い、形容詞として「思いやりがある」「優しい」として使っています。

中国語の動詞の用例としては『他们兩人温存了一番、就分手了（彼等二人は優しくいたわり合って別れた）』とか『他对孩子細语温存了（彼は子供に対して愛情こまやかにささやいた）』があり、形容詞の用例としては『她是个温存的妻子（彼女は優しい妻である）』とか『温存语（思いやりのある言葉）』や『性格温存（気立てがやさしい）』等があります。なお中国語の『温存』は、これ以外に「保養する」との意味を持っており、『他原来没有大病、不过是疲乏了又着了些凉了、所以吃了药又温存了兩三天、就好了（彼はもともと大病をしておらず、疲れた上にちょっと風邪を引いただけだったので、薬を吞んで二三日保養をしたら良くなった）』と使われます。

さて日本語の「温存」は、中国語で『保存』とか『保留』で表現します。『保存』の用例としては最初に述べた「明日の試合に備えて戦力を温存する」が『保存力量、准备明天的比賽』、「悪習を温存して改めない」が『姑息不改、力图保存』又は『悪習不改、力图保存』となり、「二つの勢力を温存してバランスを取る」が『保存双方的势力、以取得平衡』となります。『保留』の用例として「温存されてきた悪習を一掃する」との場合に『彻底清除保留下的坏习惯』として使います。

以上の次第で、上記用例の『温存语（思いやる言葉）』を日本人が見ると「温存されてきた言葉」と理解してしまいますし、一方中国人も「悪習を温存する」との日本語を見ると「日本人は何故悪い習慣を優しくいたわるのか」と極めて不思議に思う次第です。

・
・
・

中国語で誤解しないように (第90回)

「親切」

日本語の「親切」は、「人情の厚いこと」「好意をもって人のために尽くすこと」そして「心がこもったねんごろな対応」を意味しています。この3つの表現の中で中国語の『親切』と共通する意味は「心がこもったねんごろな対応」のみです。

例えば「彼は人にとっても親切だ」は「彼は人に対して心がこもったねんごろな対応をすること」ですから、『亲切』を使って『他待人很亲切』となり、また「先生は治療方針を親切に教えてくれた」も「お医者さんは治療方針を丁寧ねんごろに教えてくれた」とのことですから、同じく『亲切』を使って『医生亲切地告诉我今后的治疗方针』となります。また「この説明書はとても親切だ」も同じ使い方ですから『这分说明书、讲得很亲切』の表現となります。

この他に中国語の『亲切』には、「親しい」とか「親しみを持てる」との意味があります。例えば『看到他的来信、就像看到他本人一样亲切』が「彼からの手紙を読むと、まるで彼に会っている様な親しみを感じる」、『他的话、我们都感到很亲切』が「彼の話に私たちは皆たいへん親しみを感じる」、そして『我觉得好像回到家乡一样的亲切了』が「私はまるで故郷に帰った様な親しみを覚えた」などです。

一方日本語の「人情に厚いこと」や「好意をもって人のために尽くすこと」を意味する「親切」の中国語にはケースにより『好意』『热情』『恩惠』等の表現があり、また『好意』と同じ意味で『好心』という表現もあります。いろいろと用例を挙げてみましょう。

「人の親切に甘える（利用别人的好意）」、「人の親切を無にする（辜负别人的好意）」、「私のこの親切も無駄にならなかった（我的这番好意、也没白费的了）」、「私の親切がかえって仇になってしまった（我的一番好心、却成了坏事了）」で、その他に「彼は誰にもたいへん親切な人です（他对谁很热情）」、「彼は私にいろいろと親切にしてくれた（他多方热情地关照我）」、「我々は彼の親切に報いねばならない（我们必须报答他的恩惠）」、「彼からいろいろな親切を受けました（我从他受到各种各样的恩惠了）」があります。

なお日本語には「彼は如何にも親切ごかしにものを言う」と、「親切ごかし」との言葉があります。中国語で『假心假意』或いは『虚情假意』で表現し、『他显得假心假意地讲话』と表現します。

・
・
・
—

中国語で誤解しないように (第91回)

「深刻」

「深刻」とは「深く刻み込まれた」との意味ですが、日本語と中国語ではちょっとその意味合いが違う様です。日本語でも中国語でも使われている言葉として「深刻な印象（中国語で『深刻的印象』）」があります。日本語は「心情的に重大な印象」との意味ですが、中国語は「心に与える深い印象」との意味です。従って日本語の意味を正確に中国語に訳す場合は、『严肃的印象』、或いは『重大的印象』と訳すべきでしょう。

敢えて表現すると日本語の「深刻」は、「厳肅な、重大な或いは厳しいなどの、何かたいへんなことが起こりそうな差し迫った悲観的な感覚」であり、中国語の『深刻』は、「心に与える奥深く強い感覚」と言えます。

日本語の用例として「深刻な顔をして何を話しているのか」が中国語で『表情那么严肃、你们说什么话呢』、「家庭問題で深刻に悩んでいる」が『因家庭的问题、而万分苦恼』、「深刻な人生問題」が『重大的人生问题』、「彼の作品はどこか深刻なところがある」が『他的作品中、有打动人心的地方』、「生活がますます深刻になって来た」が『生活困难的情况、越来越严重』、「君は物事を些か深刻に考え過ぎる」が『你把事情想得有点儿严重了』、「インフレのため経済状況が深刻になって来ている」が『由于通货膨胀、经济状况越来越严重』などがあり、中国語で『严肃、严重、重大』などで表現されます。

一方中国語の用例は、『他说的话、含义深刻、耐人寻味』が「彼の話は意味が深く、味わいに富む」、『深刻地领会』が「深く理解する」、『深刻的体会』が「身にしみる体験」、『他的见解很深刻』が「彼の見解は、非常に核心をついた奥深いものがある」、「这个小说、内容很深刻」が「この小説の内容は、たいへん奥深い」などであり、日本語で「深い、奥深い」で表現されます。

「深刻な印象」とか「深刻な問題」を中国語でそのまま『深刻的印象』とか『深刻的问题』と訳せそうですが、そのニュアンスに相違がある点を述べました。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第92回）

「一向」

日本語に「一向一揆」という言葉があります。これは室町末期に一向宗の僧侶と宗徒が大名の領国支配と戦ったことで、浄土真宗で「ただひたすら南無阿弥陀仏と念仏を唱えたら極楽へ行ける」と説教したのが「一向宗」と言われた所以です。

この様に日本語の「一向」は、名詞として「一向宗」の如く「ひたすらなこと、純粋なこと」の意味ありますが、副詞として使われることの方が多く「心を他に向けず、ひたすらに」、「全く、もっぱら」、そして打消語を後に伴って「少しも、全

く……しない」として使われます。

味があります。

日本語の用例として「心を他に向けず、ひたすらに」の例は非常に少なく、「ただ一向に念ずべし」が『應該只一心念佛』です。日本語では「ひたすらに」の表現を使うことが普通であり、例えば「ただ一向に念ずべし」を現代語では「ただひたすらに念仏を唱えなさい」となり、中国語で『你应该一个劲儿地念佛吧!』、又は『你应该一味地念佛 ba!』となります。従って「一向」を中国語では『一心、一勁、一味』などの言葉で表現します。

その他「全く、もっぱら」の用例としては、日本語の「彼から一向に手紙が来ない」が中国語で『他一直没写信来』、「長いこと英語会話を習っているが、一向に上達しない」が『我学了很长时间英语会话、但总不长进』、「何を言われても彼は一向に平気だ」が『不管怎么说他、他完全不在乎』があり、中国語で『一直、总、完全』などで表現します。

打消語を後に伴って「少しも、全く……しない」と否定する使い方が日本語では一番多く、用例として「彼は一向に勉強する気配を見せない」が『一点儿也看不出、他用功的样子』、「私は一向に存じません」が『我一点也不知道』で、『一无所知』との表現もあります。「何が起こっても彼は一向に驚かない」が「发生了什么事、他毫不惊慌」があり、中国語で『一点儿、毫不』などを使います。

一方中国語の『一向』は、「過去或いは現在のある時期、ひところ、このころ」の意味と、「過去から現在までを意味する、今までずっと、いつも、平素から」の意味があります。

「過去或いは現在のある時期」の用例としては、中国語の『听说、前一向你身体不大好』が、日本語の「聞くところでは、ひところ貴方はお身体が悪かったとのことですね」であり、『这一向、我的工作很顺利』が「この所、私の仕事はたいへんスムーズに行っている」、『这一向、奶奶的记性更不好了』が「近ごろ、祖母の記憶がますます悪くなった」などがあります。

また「過去から現在まで、今までずっと、いつも、平素から」の用例としては、『小李、他一向不喜歡运动了』が日本語で「李さんは、以前からずっと運動が好きでなかった」であり、『老王一向为人热情』が「王さんは以前から親切だ」、『他一向不抽烟』が「彼は平素から煙草を吸わない」などです。

中国語も日本語も時間的な流れの中での表現としては同じですが、使い方が全く異なる点をご理解下さい。

・
・
・

中国語で誤解しないように (第93回)

「用心」

「用心」とは「心を用いる」との言葉です。然し心の使い方が日本語と中国語では若干異なります。日本語の「用心」は「注意、警戒する」ことに心を用いています。中国語の『用心』は「何かに集中する」ことに心を用いており、「気をつける、気を配る、心を込める、或いは身を入れる」との意味です。また「心を込める」の意味から転じて「了見、意図、下心、心がけ」を表現しています。

日本語の用例としては、「あそこはスリが多いから、懐中物にくれぐれも用心して下さい」が中国語で『那里兜儿的很多、请多加小心』、「何ごとにも用心するに越したことはない」が『做什么事情、都要谨慎从事』、「海外生活に慣れていても、やはり用心することが肝要だ」が『虽然已经习惯了海外生活、但还小心为好』、「甘い言葉にはくれぐれも用心しなさい」が『对那些甜言蜜语、要格外警惕』、「我々は滑って転ばない様に用心しながら山を下った」が『我们下了山、一路上小心翼翼地生怕滑倒了』などがあり、中国語で『小心、警惕、留心、提防』で表現します。

一方中国語の用例は、『他学什么、都很用心』が日本語で「彼は何を習うにも身を入れてやる」、『他做任何事情、都很用心』が「彼は何事をするにつけても、細心の注意を払う」、『他学习一点儿也不用心』が「彼は勉強に少しも身が入らない」、『饱食终日、无所用心』が「四六時中食べてばかりで、何もをしない」があります。

「了見、意図、下心、心がけ」の用例としては、『他这样做、是有用心的』が日本語で「彼がこの様にするのは、別に狙いがあるからだ」、『究竟他的用心何在』が「結局の所、彼の下心は何処にあるのか」、『他的用心、我完全知道』が「彼がどういう了見でいるか、私にはよく分かっている」、『用心良苦』が「心配りや配置などに念が入っている、苦心が並大抵ではない」、『别有用心』が「別に下心がある」、『用心险恶』が「意図が腹黒い」などがあります。

なお日本語には「火の用心」など「～～に用心」との言葉がたくさんあります。「火の用心」が『小心火烛』、「懐中物ご用心」が『提防扒手』、「戸締りに用心」が『注意关门』、「足下に用心」が『脚底留心』、「用心は臆病にせよ」が『注意要胆去』、「用心に怪我なし」が『有备无患』などです。また「念には念を入れて、或いは入念に」の中国語の表現は『用心用意地』となります。

・
・
・

中国語で誤解しないように (第94回)

「求人」

日本語の「求人」は広辞苑にも記載がある様に「雇用する為に人を探し求めること」の意味しかありません。中国語では『招人、招工、招聘职工、招聘人员』などの表現があります。

日本語の用例として、「本校の学生には求人申し込みが多い」が中国語で『招聘本校学生的很多』となり、「新聞の求人広告で職を探す」が『从报纸上的招聘广告中寻找工作』、「技術系では次のような求人が来ている」が『专业技术方面、有以下用人需求』、「本会社の求人に、応募者が殺到している」が『对本公司招工、应聘者纷纷而至』として使われています。

他方中国語の『求人』は、日本語と全く異なって「人に頼む、人の世話になる、人にすぎる」などの意味を持っています。

中国語の用例として、『不要什么事都求人』が日本語で「何もかも人に頼んではいけない」となり、『求人不如求自己』が「人に頼むより自分でやった方がよい」ですが「自分でやるのが一番確実だ」とも言えます。『万事不求人』もよく使われており、『何事も人の世話にならない』との意味です。また「お願いする」として使う用例は『请求你、帮我打个国际电话』で「国際電話をかけるので、助けをお願いしたいのですが」があります。

ここで中国語の『请求』という言葉が出てきましたが、これは「宜しく願います」の意味です。一方日本語の「請求する」は、「要求する」との意味で、我々がよく使う「請求書」は「品物の代金の支払いを要求する文書」です。法律用語にも「請求権」とか「請求異議の訴え」があります。この場合の「請求」も「相手に対して一定の行為を行うことを要求すること」で、中国語が意味する点とは異なります。

結論的に言うと、日本語の「求人」は働き手を求めることであり、中国語の『求人』は人の助けを求めることで、大きな違いがある次第です。

・
・
・

中国語で誤解しないように (第95回)

「清楚」

日本語の「清楚」は、「清楚な人」や「清楚な身なり」と表現される様に、清らかでさっぱりした様子や飾り気のない身なりを意味しています。

用例としては、「清楚なお嬢さん」が中国語で『清秀的姑娘』であり、「清楚な身りの女学生」が『服装清洁的女学生』、「この花は非常に清楚だ」が『这个花儿是非常素雅的』の通り、中国語で『清秀、清洁、素雅』などで表現します。

中国語の『清楚』には、日本語の「明白である、はっきりしている」、「明晰である」、「良く知っている、分かっている」の3つの意味があり、日本語とは全く異なります。

「明白である、はっきりしている」の用例としては、『清楚的脚印』が日本語で「はっきりした足跡」、『口齿清楚』が「話し振りがはっきりしている」、『说明书上写得清清楚楚』が「マニュアルにはっきり書いてある」、『我了解得很清楚』が「私

は明確に了解している」、『这件事的原委、他很清楚』が「この事件のいきさつを、彼はよく知っている」、『离职时、要工作交代清楚』が「職を離れる時は、事務引継をちゃんとすべきである」、『他已经把那件事情、交代清楚了』が「彼はもうその事情をはっきりと説明した」などです。さいごの2つの用例で使われた『交代』には、日本語で「説明する、仕事の引継ぎ」の意味があり、これは次の回に説明します。

「明晰である」の用例では、『脑子很清楚』が日本語で「頭脳が明晰である」、『条理清楚的文章』が「文脈が明晰な文章」です。

「良く知っている、分かっている」の用例は、『我真不清楚、他为什么这么做』が日本語で「彼が何故この様にするのか、私には本当に分からない」であり、『关于他的为人、我是一清二楚的』が「彼の人となりは、私がよく知っている」、『这个事情的真相、只有他一个人清楚』が「この事件の真相は、彼ただ一人しか知らない」です。またよくご存知なのが『弄清楚』で、用例として『我把这个事情弄清楚』で「私がこの事をはっきりさせる」となります。

日本語の「清楚」と中国語の『清楚』とでは、全く使い方が異なることをご理解頂けたと思います。

・
・
・
—

中国語で誤解しないように (第96回)

「結実」

日本語で「結実」とは草木が実を結ぶとの意味で、それから転じて「努力の結果が実を結ぶ」との意味に使われています。一方中国語では「草木の実」を『果实』或いは『果子』といい、「草木が実を結ぶ」を『结果实』といいます。例えば「柿の木がたくさん実を結んだ」を中国語で『柿子树结了很多果子』と表現します。

「努力の結果が結実する」との用例として、「一生懸命勉強すれば、素晴らしい成果が結実する」との中国語は『要是努力学习、将会取得优异的成果』と表現され、「多年に渉る研究がついに結実した」は『多年的研究终于取得了成果』、「あの計画は結局結実しなかった」は『那个计划到底落空了』と表現されます。

一方中国語の『结实』は日本語とは全く異なる意味を持っており、1つは「体が壮健である、丈夫である」との意味で、もう1つは「物が丈夫である、しっかりしている」との意味です。「体が壮健である、丈夫である」の用例としては、「彼は体がたいへん丈夫だ」が『他的身体很结实』、「あの若者はほんとうに壮健だ」が『那个小伙子身体真结实』があります。また「物が丈夫である、しっかりしている」との用例には、「この生地は非常に丈夫だ」が『这个料子很结实』、「彼は包みを紐でしっかり縛った」が『他把包子捆得结结实实』、或いは「この靴はたいへん丈夫で、1年履いても壊れない」を『这双鞋很结实、穿了一年还没坏』とする表現があります。

またそれから転じて、「確実に、しっかりと」或いは「堅い」との意味があり、「確かな証拠」が『结实的凭据』、「あの件をうまく隠してくれ」が『那件事你千万瞒结实』とか、「この石は非常に堅い」が『那个石头很结实』と使われています。

一般的に「堅い」は、質的に硬い場合は『硬』が使われ、「この肉は硬くて食べられない」との場合は『这肉硬得没法吃』と表現されます。心や態度等が固い場合は『坚定』や『坚决』が使われ、「固い決心」が『坚定的决心』、「彼の態度はきっぱりしている」が『他的态度很坚决』と使われ、そしてなかなか崩れない堅さの場合は『坚坚』が使われ、「敵の防御はたいへん固い」を『敌人的防御很坚固』と表現します。従って硬い場合に『结实』を使うのは、石のように硬くて壊れない場合であろうと推察される次第です。『结实』は日本語と中国語で全く異なる意味を持つ点と併せて、「硬い」との表現がいろいろあることを説明しました。

・

・

・

中国語で誤解しないように (第97回)

「関門」

日本語の「関門」は「関所或いは関所の門」の意味です。それから転じて「非常に通過するのが難しい所」の意味があり、「難関」という言葉があります。中国語の『关门』にも日本語と同じ「関所」や「関所の門」の意味があり、『关口』や『关口的门』と表現します。「非常に通過するのが難しい所」の意味の日本語の「関門」や「難関」を、中国語では両方とも『难关』と訳します。然し「関門」の方は日本語の意味如何では『关头』と訳した方がよい場合があります。「東大入試の難関を突破した」や「筆記試験の関門を突破し、次は面接試験だ」の場合は両方とも『难关』を使って、『突破了東大入学考试的难关』、『考上了笔试的难关、下次是面试的』となります。然し「重大な関門に到達した」の場合は『达到了严重的关头』とした方が妥当です。『关头』には「瀬戸際」とか「重要な分かれ目」の意味があり、この様な場合の日本語の「関門」には『关头』が適切な次第です。

扱って中国語の『关门』には、それ以外に「門を閉める」、「閉店する」、「廃業する」、「人や世間との交渉を絶つ」などの意味があります。「門を閉める」という中国語では四字成句として『随手关门』、即ち「開放無用、必ず戸を閉めて下さい」があります。「閉店する」の用例は「あの店は午前10時に開店し、午後8時に閉店する」が『那个商店上午10点开门、下午8点关门』、またこれに関連して「倒産する、廃業する」との意味の「閉店」の場合にも『关门』が使われます。用例として、「あの料理店は経営が行き詰まり、やむなく閉店した」が『那个餐馆儿经营不下去、只好关门了』と表現されます。なお会社や商店の倒産による廃業の場合に、敢えて縁起を担ぐめでたい表現をして『关门大吉』という表現があります。

人を避けたり又は他の人との交渉の道を閉ざす「人や世間との交渉を絶つ」場合の用例としては、「双方の話し合いの道は、まだ閉ざされていない」が『双方在談判上、还没有关门』があり、「彼を締め出しにする」を『对他采取了关门态度』と表現し、また「排他主義」や「閉鎖主義」を『关门主义』で表現します。なお一般的には「排他主義」は『排外主义』と表現されます。

「関門」は日本語では名詞ですが、中国語の『关』には「閉める」との動詞の意味があるので表現が多岐にわたっています。

・
・
・

中国語で誤解しないように (第98回) 「完全」

日本語の「完全」とは「全て備わって足りない所がないこと」を意味しており、「完全無欠」との言葉があります。例えば「この2つの物は完全に同じだ」、「歴史的文化財が完全に保存されて来ている」、「完全を期する」などの表現です。然しこれを中国語で表現すると、『这两个東西是完全一样的』、『把歴史文物完整地保存下来』、『期望完善』のように、日本語と同じ『完全』と併せて『完整』『完善』『完美』などの日本語にはない語彙があります。日本語では同じ「完全」ですが、中国語ではその完全さを更に詳しく説明していると言えます。即ち、『完全』とは日本語の「全く、すっかり、全て」の意味で、各部分が全て揃っている完全さを表現し、『完整』は全体から見て欠けている所がない完全さ、『完善』は完全であり立派である完全さ、そして『完美』は完璧で、非の打ち所のない完全さを表現しているようです。この4つについてそれぞれ用例を挙げてみます。

『完全』の用例としては、『我完全不明白 (私は全く分からない)』、『试验室的设备是很完全的 (実験室の設備は全て揃っている)』、『我完全掌握了电脑 (私はパソコンを完全にマスターした)』、『其他的意見是完全相反的 (彼の意見はまったく反対である)』、『我完全支持他 (私は彼を完全に支持する)』などです。

『完整』としては、『这套百科全书是完整的 (この百科事典は (欠けた箇所がなく) 完全に揃っている)』、『这个東西还完整可用 (これはまだ無傷で完全に使用可能だ)』、『一具完整的恐龙化石 (一体の完全な恐竜の化石)』などです。

『完善』としては、『完善的治疗 (完全な治療)』、『新建了一所设备完善的医院 (設備が完全に整った立派な医院を新しく建てた)』、『新生事物难免有不够完善的地方 (新しく生まれた事物は何もかも完全という訳にはいかない)』などです。

『完美』としては、『完美主义 (完全主義)』、『这篇文章经过修改以后、比原来完美多了 (この文章は手を加えてから、元の文章より遥かによくなった)』などです。なお「完全無欠」は『完美无缺』のほか、『完美无疵』や『十全十美』があり、

「この世で完全無欠なものはありません」は『世上没有十全十美的事儿』です。

なお日本語で「完全」といいながら、上記以外の表現をする語句が多々あり、幾つかの用例を記載します。「今日は完全に遅刻だ（今天肯定是迟到的）」、「工場の設備はまだ完全ではない（工厂的设备还不完备）」、「建物はまだ完全に出来上がっていない（房子还没全部建成）」、「大地震のため町は完全に破壊された（大地震使市区遭到彻底破坏了）」、「完全武装（完副武装）」、「完全看護（全面监护）」などがあり、また完全を求める比喩の言葉として『吹毛求疵』、即ち毛を吹いてきずを求めることから「重箱の隅をほじくる」があります。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第99回）

「前言」

今回は非常に簡単な「前言」を取り上げます。日本語の「前言」とは、以前に述べた事、並びに昔の人が言ったこと、特に「先哲の言」を意味しています。一方中国語の『前言』も全く同じ意味を持っていますが、それと併せて「著作の序文、前書」の意味を持っています。用例としては「この本の執筆の経緯を序文（或いは前書）に書いた」が、中国語で『把这本书的成书过程写到了前言里』となります。

また「以前に述べたこと（以前说过的话）」の用例としては、「前言を撤回する（收回前言）」、「前言した如く（如前所述）」があり、また「話の前後の辻褄が合わない」は『前言不对后言』或いは『前言不搭后言』となります。

なお「前言を翻す」は中国語で『推翻前言』ですが、それ以外に『随便地出尔反尔』との表現があります。『出尔反尔』は言行が一致しないことや移り気であることを意味しており、元来は「汝に出ずるものは、汝に返る」、即ち自分が行った行為から生まれた結果は、自分で責任を負うとの意味でしたが、現在では「自分が言った言葉を、自分で取り消す」との意味に使われるようになりました。『他在这个问题上、全是出尔反尔（彼はこの問題では、いつも一貫した態度を取っていない）』との場合に使われます。

今回は著書の序文のことを中国語で『前言』と言うことを説明しました。因みに著書の「後書」のことを、中国語で『后记』或いは『跋语』と言います。

・
・
・

中国語で誤解しないように（第100回）

「一氣」

日本語の「一気」とは「一息」とか「一呼吸」との意味で、我々がよく使う四字熟語の「一気呵成」は、文章や仕事を一気に仕上げることを意味しています。中国語にも『一気呵成』という言葉があり、『生産任务应该一気呵成、不能有松有紧（生産任務は一気に成し遂げるべきで、間断があってはならない）』と、日本語と全く同じ意味で使われています。

また日本語で「一気呑み」という言葉がはやって、コップやジョッキにいっぱい注がれた日本酒やビールを一息で呑み干すことに使われています。中国語で『干杯』というと、杯を一気に呑み干すことですが、日本語の「一気呑み」の感覚は、中国語の『干杯』の感覚とちょっと違うようで、「大ジョッキのビールを一気呑みした」との中国語は『把大杯子的啤酒一口气喝干了』となるでしょう。

この「一気」は、中国語で『一気』や『一口气』で表現されます。「私は一気に原稿を仕上げた（我一气写完了稿子）」、「彼は一気に逃げ失せてしまった（他一口气跑了去了）」、「彼はグラスの日本酒を一気に呑んでしまった（他把一杯玻璃杯的日本酒一气喝掉了）」、「私はその本を一気に読んでしまった（我把那本书一口气看完了）」などです。また「飛行機で東京まで一気に飛んだ（坐飞机一下子飞到了东京了）」のような、短い時間やいっぺんで意味する「一気」の場合は『一下』或いは『一下子』で表現します。

以上は「一息に」とか「息もつかずに」を意味する、日本語と同じ使い方の中国語の『一気』ですが、中国語の『一気』にはそれ以外に「ぐるになっている、気脈を通じている」との意味と、いなした悪い表現としての「やたらに、ひとしきり」の意味があります。前者の例は『串通一气』や『通同一气』で、「ぐるになっている、気脈を通じている、共謀している」の意味であり、後者の例は『瞎闹一气（ひとしきり馬鹿騒ぎをする）』、『骂了一气（しばらく罵った）』、『乱说了一气（やたらに喋りまくった）』、『首先反对一气（先ずひとしきり反対する）』などです。

日本語の「一気」には「一息に」の意味しかありませんが、中国語にはそれと併せて「ぐるになっている」とか、いなした悪い表現での「やたらに、ひとしきり」の意味が存在することを説明しました。

・
・